

2024年度全国及び供給区域ごとの需要想定の策定について
(案)

業務規程第23条の規定に基づき、全ての一般送配電事業者から別紙1のとおり供給区域需要の想定を提出を受けるとともに、全供給区域需要の想定の妥当性を確認したことから、その合計からなる全国の需要想定を別紙2のとおり策定し、以下の通り、別紙1、別紙2を公表する。

1. 公表日
2024年1月24日（水）
2. 公表内容
別紙の通り
3. 公表方法
公表：本機関ウェブサイトに掲載

以上

【添付資料】

- 別紙1：一般送配電事業者から提出を受けた供給区域需要の想定
- 別紙2：全国及び供給区域ごとの需要想定（2024年度）

S-1 供給区域需要想定(年度)

(事業者名) 北海道電力ネットワーク株式会社

供給区域 北海道

2024 年度

年度		推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象間補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	平均増減率(% (参考))										
		2023	2023	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2023年度対比 (気象間補正後)	
最大需要電力(送電端)夏季	MW	4,820	4,166	4,166	4,180	4,200	4,240	4,250	4,320	4,430	4,470	4,460	4,460	4,450	0.7	
最大需要電力(送電端)冬季	MW	4,980	4,980	4,980	5,010	5,030	5,080	5,150	5,190	5,260	5,290	5,290	5,290	5,280	0.6	
年負荷率 夏季	%	70.6	80.4	80.4	80.5	80.6	80.8	81.8	81.7	81.6	81.7	81.9	81.8	82.0	-	
年負荷率 冬季	%	68.3	67.3	67.3	67.1	67.3	67.4	67.5	68.0	68.8	69.1	69.0	69.0	69.1	-	
需要電力量合計(送電端)	GWh	29,876	29,339	29,420	29,463	29,671	29,995	30,535	30,928	31,683	32,008	32,084	31,974	31,959	0.8	
送配電損失率	%	5.8	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.5	5.4	5.4	5.3	5.3	5.3	5.3	-	
需要電力量合計(需要端)	GWh	28,138	27,698	27,775	27,799	28,005	28,324	28,852	29,243	29,986	30,307	30,381	30,279	30,267	0.9	
変電所内用電力量	GWh	61	61	61	58	59	59	60	60	61	61	61	61	61	0.0	
需要電力量合計(使用端)	GWh	28,077	27,637	27,714	27,741	27,946	28,265	28,792	29,183	29,925	30,246	30,320	30,218	30,206	0.9	
	家庭用その他	GWh	12,426	12,225	12,259	12,187	12,150	12,113	12,109	12,024	11,975	11,932	11,907	11,816	11,760	-0.4
	業務用	GWh	7,899	7,681	7,703	7,731	7,770	7,802	7,850	7,861	7,903	7,925	7,970	7,969	7,994	0.4
	産業用その他	GWh	7,752	7,731	7,752	7,823	8,026	8,350	8,833	9,298	10,047	10,389	10,443	10,433	10,452	3.0
原単位(家庭用その他)	kWh/口	3,048	2,999	3,007	2,998	2,997	2,996	3,003	2,994	2,993	2,992	2,999	2,990	2,987	-0.1	
口数(家庭用その他)	千口	4,077	4,077	4,077	4,065	4,054	4,043	4,032	4,016	4,001	3,988	3,970	3,952	3,937	-0.3	
	人口/口数	人/口	1.25	1.25	1.25	1.24	1.24	1.23	1.22	1.22	1.21	1.20	1.20	1.19	1.18	-
夏季需要	MW		-				-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ベース需要	MW		-				-	-	-	-	-	-	-	-	-	
冬季需要	MW		-				-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ベース需要	MW		-				-	-	-	-	-	-	-	-	-	
備考																

S-2 供給区域需要想定(第1年度)

(事業者名) 北海道電力ネットワーク株式会社

供給区域 北海道

2024 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	3,950	3,530	3,590	4,080	4,180	3,870	3,870	4,440	4,810	5,010	4,990	4,530
	需要電力量合計(送電端)	GWh	2,312	2,147	2,026	2,214	2,293	2,084	2,242	2,479	3,000	3,098	2,792	2,776
	需要電力量合計(使用端)	GWh	2,327	2,172	1,863	2,059	2,166	1,976	2,035	2,268	2,532	3,058	2,679	2,606
	家庭用その他	GWh	1,113	993	700	775	859	768	785	978	1,074	1,587	1,324	1,231
	業務用	GWh	605	569	558	612	644	563	587	641	755	780	703	714
	産業用その他	GWh	609	610	605	672	663	645	663	649	703	691	652	661

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	3,970	3,550	3,610	4,110	4,200	3,900	3,900	4,470	4,830	5,030	5,010	4,550

供給区域 北海道

2024 年度

			想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	○8月送電端電力量からH3日量を算出し、日負荷率を乗じて想定した結果に、個別動向を加味。 ○日負荷率等は、至近2年平均(至近の節電影響を反映)を使用	気温補正後	(送電端電力量の月配分比率) 2018~2023年度 [2020年度を除く] (H3日平均電力量比率・H3日負荷率) 2022 ~ 2023	-	-	-	-	・送電端電力量の月配分比率は、新型コロナ影響がみられた2020年度を除いて算定 ・H3日平均電力量比率およびH3日負荷率は至近の節電影響(最大電力発生時の節電影響は限定的であるためH3日平均電力量比率は上昇、H3日負荷率は悪化する傾向)を反映するため、至近2年平均を採用	
		夏季需要			~						
		ベース需要			~						
		その他			~						
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	○1月送電端電力量からH3日量を算出し、日負荷率を乗じて想定した結果に、個別動向を加味。 ○日負荷率等は、至近2年平均(至近の節電影響を反映)を使用	気温補正後	(送電端電力量の月配分比率) 2018~2023年度 [2020年度を除く] (H3日平均電力量比率・H3日負荷率) 2022 ~ 2023	-	-	-	-	・送電端電力量の月配分比率は、新型コロナ影響がみられた2020年度を除いて算定 ・H3日平均電力量比率およびH3日負荷率は至近の節電影響(最大電力発生時の節電影響は限定的であるためH3日平均電力量比率は上昇、H3日負荷率は悪化する傾向)を反映するため、至近2年平均を採用	
		冬季需要			~						
		ベース需要			~						
		その他			~						
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他		口数×口数原単位により想定		~					
			家庭用その他(口数)	北海道人口を一口当たり人口で除して想定		- ~ -	-	人口	-	-	
			家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向により想定		2014 ~ 2023	0.997 0.895		$y = -0.010x + 1.352$ $y = -0.041 \ln(x) + 1.357$	Y: 一口あたり人口 X: 時系列	至近実績(人口・世帯数・口数)を踏まえ、実数1次と片対数1次の折半とした。
			家庭用その他(原単位)	時系列傾向により想定	気温閾補正後	2014 ~ 2023	0.804		$Y = -160.112 \log(X) + 3466.740$	Y: 口数原単位 X: 時系列	2024~2032年度値は、2023年度推定と2033年度想定値を直線補間
業務用		GDP見通しにGDP原単位見通し(時系列傾向により想定)を乗じて想定	気温閾補正後	2014 ~ 2023	0.780	GDP	$Y = -0.631 \log(X) + 15.787$	Y: GDP原単位 X: 時系列	乖離差補正(2023)		
産業用その他		IIP相関により想定し、停止中所内電力量相当を加算	気温閾補正後	2014 ~ 2023	0.803	IIP	$Y = 17.925X + 5697.768$	Y: 電力量 X: IIP	別途想定した大規模新增設影響および停止中所内電力量を加算		

供給区域 北海道

2024 年度

			想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	○8月送電端電力量からH3日量を算出し、日負荷率を乗じて想定した結果に、個別動向を加味。 ○日負荷率等は、至近2年平均(至近の節電影響を反映)を使用	気温補正後	(送電端電力量の月配分比率) 2018~2023年度 [2020年度を除く] (H3日平均電力量比率・H3日負荷率) 2022 ~ 2023	-	-	-	-	・送電端電力量の月配分比率は、新型コロナ影響がみられた2020年度を除いて算定 ・H3日平均電力量比率およびH3日負荷率は至近の節電影響(最大電力発生時の節電影響は限定的であるためH3日平均電力量比率は上昇、H3日負荷率は悪化する傾向)を反映するため、至近2年平均を採用	
		夏季需要									
		ベース需要									
		その他									
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	○1月送電端電力量からH3日量を算出し、日負荷率を乗じて想定した結果に、個別動向を加味。 ○日負荷率等は、至近2年平均(至近の節電影響を反映)を使用	気温補正後	(送電端電力量の月配分比率) 2018~2023年度 [2020年度を除く] (H3日平均電力量比率・H3日負荷率) 2022 ~ 2023	-	-	-	-	・送電端電力量の月配分比率は、新型コロナ影響がみられた2020年度を除いて算定 ・H3日平均電力量比率およびH3日負荷率は至近の節電影響(最大電力発生時の節電影響は限定的であるためH3日平均電力量比率は上昇、H3日負荷率は悪化する傾向)を反映するため、至近2年平均を採用	
		冬季需要			~						
		ベース需要			~						
		その他			~						
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他		口数×口数原単位により想定		~					
		家庭用その他(口数)		北海道人口を一口当たり人口で除して想定		- ~ -	-	人口	-	-	
		家庭用その他(一口当たり人口)		時系列傾向により想定		2014 ~ 2023	0.997 0.895		$y = -0.010x + 1.352$ $y = -0.041 \ln(x) + 1.357$	Y: 一口あたり人口 X: 時系列	至近実績(人口・世帯数・口数)を踏まえ、実数1次と片対数1次の折半とした。
		家庭用その他(原単位)		時系列傾向により想定	気温閾補正後	2014 ~ 2023	0.804		$Y = -160.112 \log(X) + 3466.740$	Y: 口数原単位 X: 時系列	2024~2032年度値は、2023年度推定と2033年度想定値を直線補間
業務用		GDP見通しにGDP原単位見通し(時系列傾向により想定)を乗じて想定	気温閾補正後	2014 ~ 2023	0.780	GDP	$Y = -0.631 \log(X) + 15.787$	Y: GDP原単位 X: 時系列	乖離差補正(2023)		
産業用その他		IIP関連により想定し、停止中所内電力量相当を加算	気温閾補正後	2014 ~ 2023	0.803	IIP	$Y = 17.925X + 5697.768$	Y: 電力量 X: IIP	別途想定した大規模新增設影響および停止中所内電力量を加算		

供給区域 北海道

2024 年度

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	年間送電端電力量から8月送電端電力量、H3日量を算出し、日負荷率を乗じて想定した結果に、個別動向を加味。		
	最大需要電力(送電端)冬季	年間送電端電力量から1月送電端電力量、H3日量を算出し、日負荷率を乗じて想定した結果に、個別動向を加味。		
	負荷率	送電端電力量の月配分比率:過去5年(2018~2023年度[2020年度を除く])の平均を使用 ※新型コロナ影響がみられた2020年度を除く H3日平均電力量比率:過去2年(2022~2023年度)の平均を使用 ※至近の節電影響を反映 H3日負荷率:過去2年(2022~2023年度)の平均を使用 ※至近の節電影響を反映		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	人口/口数、口数原単位ともに第1~2年度と同一観測期間での算出により各年度値を採用	
		家庭用その他(口数)		
		家庭用その他(一口当たり人口)	第1~2年度と同一観測期間での算出により各年度値を採用	
		家庭用その他(原単位)		
業務用		各年度GDP値に第1~2年度と同一観測期間で算出したGDP原単位を乗じて算出		
産業用その他	第1~2年度と同一観測期間で算出したIIP相關結果に、別途想定した個別動向(大規模新增設案件・発電所の停止中所内電力)を加味			
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	上期・下期毎に最大電力(上期:8月、下期:1月)に各月の対8月・対1月比率(2019~2023年度[2020年度を除く]の気象補正後実績により設定 [※])を乗じて想定 ※新型コロナ影響がみられた2020年度を除く		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	年度想定値に各月比率(2018~2023年度の気象補正後実績により設定)を乗じて想定	
		業務用	年度想定値に各月比率(2018~2023年度[2020年度を除く]の気象補正後実績により設定)を乗じて想定 ※新型コロナ影響がみられた2020年度を除く	
		産業用その他	年度想定値に各月比率(2018~2023年度[2020年度を除く]の気象補正後実績により設定)を乗じて想定 ※新型コロナ影響がみられた2020年度を除く	
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	上期・下期毎に最大電力(上期:8月、下期:1月)に各月の対8月・対1月比率(2019~2023年度[2020年度を除く]の気象補正後実績により設定 [※])を乗じて想定 ※新型コロナ影響がみられた2020年度を除く		

供給区域 東北

2024 年度

	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象間補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	平均増減率(%) (参考)									
年度	2023	2023	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2023年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	14,436	13,327	13,327	13,010	13,080	13,070	13,060	13,050	13,040	13,030	13,010	13,000	12,990	-0.3
最大需要電力(送電端)冬季 MW	13,240	13,240	13,240	13,350	13,420	13,410	13,400	13,380	13,370	13,360	13,350	13,340	13,330	0.1
年負荷率 夏季 %	63.6	67.4	67.4	69.6	69.6	69.6	69.6	69.6	69.6	69.6	69.6	69.6	69.6	—
年負荷率 冬季 %	69.3	67.8	67.8	67.8	67.8	67.8	67.8	67.9	67.9	67.8	67.8	67.8	67.8	—
需要電力量合計(送電端) GWh	80,619	78,662	78,877	79,331	79,748	79,679	79,831	79,545	79,477	79,407	79,554	79,267	79,197	0.0
送配電損失率 %	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	—
需要電力量合計(需要端) GWh	76,145	74,296	74,499	74,928	75,322	75,257	75,400	75,130	75,066	75,000	75,139	74,868	74,802	0.0
変電所内用電力量 GWh	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	0.0
需要電力量合計(使用端) GWh	76,066	74,217	74,420	74,849	75,243	75,178	75,321	75,051	74,987	74,921	75,060	74,789	74,723	0.0
家庭用その他 GWh	26,822	25,677	25,747	25,594	25,524	25,408	25,363	25,179	25,064	24,947	24,898	24,713	24,596	-0.5
業務用 GWh	16,249	15,635	15,678	15,611	15,571	15,506	15,483	15,376	15,311	15,245	15,221	15,113	15,047	-0.4
産業用その他 GWh	32,995	32,905	32,995	33,644	34,148	34,264	34,475	34,496	34,612	34,729	34,941	34,963	35,080	0.6
原単位(家庭用その他) kWh/口	3,209	3,209	3,209	3,195	3,182	3,172	3,161	3,151	3,141	3,130	3,120	3,109	3,099	-0.3
口数(家庭用その他) 千口	8,002	8,002	8,002	8,011	8,021	8,011	8,001	7,991	7,981	7,970	7,959	7,948	7,937	-0.1
人口/口数 人/口	1.31	1.31	1.31	1.29	1.28	1.27	1.26	1.24	1.23	1.22	1.21	1.20	1.18	—
夏季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
冬季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備考														

S-2 供給区域需要想定(第1、2年度)

(事業者名) 東北電力ネットワーク株式会社

供給区域 東北

2024 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	10,530	9,780	10,680	12,770	13,010	11,510	10,220	11,490	12,860	13,350	13,300	12,250
	需要電力量合計(送電端)	GWh	6,170	5,578	5,986	6,555	6,534	6,010	5,879	6,444	7,892	7,920	7,505	6,858
	需要電力量合計(使用端)	GWh	6,160	5,573	5,524	5,823	6,248	5,873	5,570	5,881	6,533	7,661	7,195	6,808
	家庭用その他	GWh	2,296	1,834	1,558	1,601	1,912	1,721	1,699	1,923	2,228	3,250	2,896	2,676
	業務用	GWh	1,230	1,095	1,145	1,287	1,411	1,249	1,091	1,190	1,439	1,570	1,543	1,361
	産業用その他	GWh	2,634	2,644	2,821	2,935	2,925	2,903	2,780	2,768	2,866	2,841	2,756	2,771

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	10,590	9,830	10,730	12,840	13,080	11,580	10,270	11,550	12,930	13,420	13,360	12,320

供給区域 東北

2024 年度

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率の過去実績平均	補正なし	2019 ~ 2022	-	-	-	-	・観測期間から2020, 2021年度除く
		夏季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	日負荷率の過去実績平均	補正なし	2017 ~ 2022	-	-	-	-	・観測期間から2020, 2021年度除く
		冬季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数 × 原単位	-	- ~ -	-	-	-	-	
		家庭用その他(口数)	人口 / 一口当たり人口	-	- ~ -	-	人口	-	-	
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列相関	-	2008 ~ 2023	0.981	-	$Y=1.586*0.989^X - 0.011$	Y=一口当たり人口 X=時系列	・観測期間から2011, 2012, 2020, 2021年度を除く ・乖離差補正あり
		家庭用その他(原単位)	時系列相関	気温閾補正後	2013 ~ 2023	0.687	-	$Y=-159.727\ln(X)+3,591.808$	Y=口数原単位 X=時系列	・観測期間から2020, 2021年度を除く ・乖離差補正あり
業務用		GDP・人口相関	気温閾補正後	2016 ~ 2023	0.984	GDP 人口	$Y=17,081(X1)+11,726(X2)-6152.407$	Y=電力量 X1=GDP X2=人口	・観測期間から2020, 2021年度を除く ・乖離差補正あり	
産業用その他		IIP × 原単位 ※(電力量/IIP) ※時系列相関により想定	閾補正後	2017 ~ 2023	0.728	IIP	$Y=12.699\ln(X)+290.862$	Y=IIP原単位 X=時系列	・観測期間から2020, 2021年度を除く ・乖離差補正あり	

供給区域 東北

2024 年度

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率の過去実績平均	補正なし	2019 ~ 2022	-	-	-	-	・観測期間から2020, 2021年度除く
		夏季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	日負荷率の過去実績平均	補正なし	2017 ~ 2022	-	-	-	-	・観測期間から2020, 2021年度除く
		冬季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数 × 原単位	-	- ~ -	-	-	-	-	
		家庭用その他(口数)	人口 / 一口当たり人口	-	- ~ -	-	人口	-	-	
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列相関	-	2008 ~ 2022	0.978	-	$Y=1.583*0.989^X$	Y=一口当たり人口 X=時系列	・観測期間から2011, 2012, 2020, 2021年度を除く
		家庭用その他(原単位)	時系列相関	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.915	-	$Y=3.707.359*0.991^X$	Y=口数原単位 X=時系列	・観測期間から2020, 2021年度を除く
		業務用	GDP・人口相関	気温閏補正後	2016 ~ 2022	0.972	GPD 人口	$Y= 17.134(X1) + 11.930(X2) - 6410.169$	Y=電力量 X1=GDP X2=人口	・観測期間から2020, 2021年度を除く
		産業用その他	IIP・時系列相関	閏補正後	2013 ~ 2022	0.570	IIP	$Y= 148.061(X1) + 99.259(X2) + 20926.233$	Y=電力量 X1=時系列 X2=IIP	・観測期間から2020, 2021年度を除く ・乖離差補正あり

供給区域 東北

2024 年度

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	第3~9年度は長期想定式に基づき想定		
	最大需要電力(送電端)冬季	第3~9年度は長期想定式に基づき想定		
	負荷率	—		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数 × 原単位	
		家庭用その他(口数)	人口 / 一口当たり人口	第3~9年度は差分補正あり
		家庭用その他(一口当たり人口)	第3~9年度は長期回帰式に基づき想定	第3~9年度は差分補正あり
		家庭用その他(原単位)	第3~9年度は長期回帰式に基づき想定	第3~9年度は差分補正あり
業務用		第3~9年度は長期回帰式に基づき想定	第3~9年度は差分補正あり	
産業用その他	第3~9年度は長期回帰式に基づき想定	第3~9年度は差分補正あり		
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	過去実績にもとづき、上期は8月に対する各月の比率、下期は1月に対する各月の比率により算定		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	過去実績の時系列傾向や各月の季節要因を考慮し、口数×原単位で想定	
		業務用	過去実績の時系列傾向や季節要因を考慮し想定	
		産業用その他	過去実績の時系列傾向や季節要因を考慮し想定	
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	過去実績にもとづき、上期は8月に対する各月の比率、下期は1月に対する各月の比率により算定		

供給区域 東京

2024 年度

年度	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象間補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	平均増減率(% (参考))									
	2023	2023	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2023年度対比 (気象間補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	54,771	53,357	53,357	53,950	54,550	55,070	55,640	56,040	56,310	56,450	56,550	56,640	56,660	0.6
最大需要電力(送電端)冬季 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年負荷率 夏季 %	57.6	56.9	56.9	57.3	57.6	58.0	58.3	58.6	58.8	58.9	59.0	59.1	59.1	—
年負荷率 冬季 %	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
需要電力量合計(送電端) GWh	277,136	266,119	266,848	270,634	275,356	279,571	285,019	287,666	289,975	291,273	293,017	293,058	293,384	1.0
送配電損失率 %	4.1	3.3	3.3	4.1	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	—
需要電力量合計(需要端) GWh	265,828	257,316	258,021	259,655	264,314	268,477	273,839	276,477	278,760	280,047	281,754	281,821	282,149	0.9
変電所所内用電力量 GWh	409	408	409	408	408	408	409	408	408	408	409	408	408	-0.0
需要電力量合計(使用端) GWh	265,419	256,908	257,612	259,247	263,906	268,069	273,430	276,069	278,352	279,639	281,345	281,413	281,741	0.9
家庭用その他 GWh	102,271	97,004	97,270	96,560	96,073	95,527	95,225	94,394	93,802	93,208	92,847	91,958	91,325	-0.6
業務用 GWh	76,321	73,314	73,515	73,777	74,110	74,331	74,757	74,775	74,998	75,221	75,650	75,667	75,891	0.3
産業用その他 GWh	86,827	86,590	86,827	88,910	93,723	98,211	103,448	106,900	109,552	111,210	112,848	113,788	114,525	2.8
原単位(家庭用その他) kWh/口	3,273	3,105	3,113	3,083	3,062	3,044	3,034	3,008	2,990	2,972	2,962	2,936	2,918	-0.6
口数(家庭用その他) 千口	31,243	31,243	31,243	31,320	31,376	31,382	31,383	31,381	31,372	31,362	31,345	31,321	31,297	0.0
人口/口数 人/口	1.45	1.45	1.45	1.45	1.44	1.44	1.44	1.43	1.43	1.42	1.42	1.42	1.41	—
夏季需要 MW														
ベース需要 MW														
冬季需要 MW														
ベース需要 MW														
備考	推定実績の最大需要電力発生月(夏季)は7月。													

S-2 供給区域需要想定(第1、2年度)

(事業者名) 東京電力パワーグリッド株式会社

供給区域 東京

2024 年度

(第1年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端) MW	37,130	35,930	41,860	53,950	53,950	45,490	38,270	39,450	43,580	47,520	47,520	41,740
	需要電力量合計(送電端) GWh	20,076	19,835	20,840	24,101	24,961	21,691	20,673	21,038	24,636	26,085	23,496	23,202
	需要電力量合計(使用端) GWh	20,707	18,912	19,930	21,676	23,795	22,526	19,849	19,760	21,515	24,139	24,246	22,192
	家庭用その他 GWh	7,892	6,420	6,348	6,959	8,552	8,012	6,512	6,969	8,306	10,725	10,851	9,014
	業務用 GWh	5,672	5,464	5,942	6,615	7,293	6,755	5,858	5,571	5,949	6,368	6,369	5,921
	産業用その他 GWh	7,143	7,028	7,640	8,102	7,950	7,759	7,479	7,220	7,260	7,046	7,026	7,257

(第2年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端) MW	37,730	36,520	42,450	54,550	54,550	46,090	38,860	40,040	44,160	48,100	48,100	42,330

供給区域 東京

2024 年度

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考		
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	「8月送電端電力量」、「最大3日量比率」、「日負荷率」などの想定諸元から算出。※データセンター需要を反映	~							
		夏季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
		ベース需要			~						
		その他			~						
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率			~						
		冬季需要			~						
		ベース需要			~						
		その他			~						
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	家庭用その他(口数)に家庭用その他(原単位)を乗じて算出。	-	~						
			家庭用その他(口数)	人口/(人口/口数)により想定。	-	~					
			家庭用その他(一口当たり人口)	時系列相関 平方根	-	2012 ~ 2023	0.952		$Y=-0.040*\text{SQRT}(X)+1.604$	X:時系列	乖離差補正
			家庭用その他(原単位)	時系列相関 平方根	気温閾補正後	2012 ~ 2023	0.837		$Y=-152.384*\text{SQRT}(X)+3721.590$	X:時系列	乖離差補正
業務用		GDP・時系列(平方根)との重相関	気温閾補正後	2014 ~ 2021	0.982	GDP	$Y=0.131*(X1)-2205.077*\text{SQRT}(X2)+10881.317$	Y:電力量 X1:GDP X2:時系列	乖離差補正		
産業用その他		IIP・時系列(平方根)との重相関 ※データセンター需要および停止中所内電力量等を反映	閾補正後	2015 ~ 2022	0.987	IIP	$Y=455.832*(X1)-1735.728*\text{SQRT}(X2)+43941.967$	Y:電力量 X1:IIP X2:時系列	乖離差補正 推奨年度のみ気温補正		

供給区域 東京

2024 年度

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考		
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	「8月送電端電力量」、「最大3日 日量比率」、「日負荷率」などの 想定諸元から算出。※データセン ター需要を反映	~							
		夏季需要		~							
		ベース需要		~							
		その他		~							
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率			~						
		冬季需要			~						
		ベース需要			~						
		その他			~						
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	家庭用その他(口数)に家庭用 その他(原単位)を乗じて算出。	-	~						
			家庭用その他(口数)	人口/(人口/口数)により 想定。	-	~					
			家庭用その他(一口当たり人口)	時系列相関 平方根	-	2012 ~ 2023	0.952		$Y=-0.040*\text{SQRT}(X)+1.604$	X:時系列	乖離差補正
			家庭用その他(原単位)	時系列相関 平方根	気温閾補正後	2012 ~ 2023	0.837		$Y=-152.384*\text{SQRT}(X)+3721.590$	X:時系列	乖離差補正
業務用		GDP・時系列(平方根)との 重相関	気温閾補正後	2014 ~ 2021	0.982	GDP	$Y=0.131*(X1)-2205.077*\text{SQRT}(X2)+10881.317$	Y:電力量 X1:GDP X2:時系列	乖離差補正		
産業用その他		IIP・時系列(対数)との重相 関 ※データセンター需要および 停止中所内電力量等を反映	閾補正後	2015 ~ 2022	0.986	IIP	$Y=479.547*(X1)-1447.970*\text{LN}(X2)+39744.569$	Y:電力量 X1:IIP X2:時系列	乖離差補正 推定年度のみ気温補正		

供給区域 東京

2024 年度

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	2025年度と2033年度の年負荷率(気温閾補正後ベース)を等差・等比平均で接続し、送電端電力量(気温閾補正後)に乗じて算出し、データセンター需要を反映。		
	最大需要電力(送電端)冬季			
	負荷率			
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	家庭用その他(口数)に家庭用その他(原単位)に乗じて算出。	
		家庭用その他(口数)	人口/(人口/口数)により想定。	
		家庭用その他(一口当たり人口)	2025年度と2033年度の一口当たり人口を等差・等比平均で接続。	
		家庭用その他(原単位)	2025年度と2033年度の原単位を等差・等比平均で接続。	
業務用		2025年度と2033年度の電力量を等差・等比平均で接続。		
産業用その他	2025年度と2033年度の想定値を等差・等比平均で接続し、データセンター需要および停止中所内電力量等を反映。			
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	送電端電力量に気温補正後(過去10年ベース)月負荷率の至近5年平均値(4~9月:2019~2023年度、10~3月:2018年度~2022年度)に乗じて想定し、データセンター需要を反映。12~2月は月ごとに最大需要電力(送電端)夏季と同様の手法を使用。		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	2015年度~2019年度の月別シェア(気温閾検針日数補正後)平均により想定。	
		業務用	2012年度~2019年度の月別シェア(気温閾補正後)平均により想定。	
		産業用その他	2015年度~2019年度の月別シェア平均により想定。	
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	送電端電力量に気温補正後(過去10年ベース)月負荷率の至近5年平均値(4~9月:2019~2023年度、10~3月:2018年度~2022年度)に乗じて想定し、データセンター影響を反映。12~2月は月ごとに最大需要電力(送電端)夏季と同様の手法を使用。		

供給区域 中部

2024 年度

年度	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象間補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	平均増減率(%) (参考)									
	2023	2023	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2023年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	24,587	23,380	23,380	24,090	24,120	24,060	24,000	23,930	23,880	23,810	23,750	23,680	23,620	0.1
最大需要電力(送電端)冬季 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年負荷率 夏季 %	60.6	63.3	63.3	61.6	61.6	61.6	61.6	61.6	61.6	61.6	61.6	61.6	61.6	—
年負荷率 冬季 %	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
需要電力量合計(送電端) GWh	130,792	129,564	129,920	130,018	130,193	129,848	129,874	129,162	128,855	128,492	128,523	127,805	127,470	-0.2
送配電損失率 %	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	—
需要電力量合計(需要端) GWh	124,958	123,786	124,124	124,219	124,386	124,057	124,082	123,401	123,108	122,761	122,791	122,105	121,785	-0.2
変電所内用電力量 GWh	151	151	151	151	151	151	151	151	151	151	151	151	151	0.0
需要電力量合計(使用端) GWh	124,807	123,635	123,973	124,068	124,235	123,906	123,931	123,250	122,957	122,610	122,640	121,954	121,634	-0.2
家庭用その他 GWh	38,917	38,434	38,539	38,222	38,004	37,779	37,676	37,333	37,119	36,884	36,787	36,446	36,226	-0.6
業務用 GWh	21,665	21,151	21,209	21,129	21,088	21,041	21,048	20,946	20,924	20,869	20,875	20,766	20,723	-0.2
産業用その他 GWh	64,225	64,050	64,225	64,717	65,143	65,086	65,207	64,971	64,914	64,857	64,978	64,742	64,685	0.1
原単位(家庭用その他) kWh/口	3,521	3,478	3,487	3,465	3,453	3,441	3,440	3,421	3,411	3,402	3,403	3,385	3,378	-0.3
口数(家庭用その他) 千口	11,052	11,052	11,052	11,031	11,006	10,979	10,951	10,913	10,882	10,842	10,809	10,767	10,724	-0.3
人口/口数 人/口	1.41	1.41	1.41	1.41	1.40	1.40	1.40	1.40	1.39	1.39	1.39	1.39	1.38	—
夏季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
冬季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備考														

S-2 供給区域需要想定(第1、2年度)

(事業者名) 中部電力パワーグリッド株式会社

供給区域 中部

2024 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	17,740	17,780	20,020	24,090	24,090	21,620	18,550	18,480	21,370	23,140	23,140	20,130
	需要電力量合計(送電端)	GWh	9,717	9,339	10,073	11,741	11,774	10,710	10,066	10,157	11,647	12,227	11,305	11,262
	需要電力量合計(使用端)	GWh	10,053	9,049	9,618	10,461	11,246	11,050	9,755	9,498	10,100	11,118	11,394	10,726
	家庭用その他	GWh	3,249	2,477	2,415	2,679	3,467	3,292	2,538	2,636	3,230	4,173	4,405	3,661
	業務用	GWh	1,632	1,527	1,633	1,854	2,121	2,011	1,709	1,568	1,653	1,841	1,865	1,715
	産業用その他	GWh	5,172	5,045	5,570	5,928	5,658	5,747	5,508	5,294	5,217	5,104	5,124	5,350

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	17,760	17,800	20,050	24,120	24,120	21,650	18,580	18,500	21,400	23,180	23,180	20,160

供給区域 中部

2024 年度

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	夏季電力量、変電所内消費電力量、送配電損失率、最大3日日負荷率などの諸元に基づき想定	-	~	-	-	-		
		夏季需要	-	-	- ~ -	-	-	-		
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-		
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-		
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	- ~ -	-	-	-		
		冬季需要	-	-	- ~ -	-	-	-		
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-		
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×原単位にて算出	気温閏補正後	- ~ -	-	-	-	-	
		家庭用その他(口数)	中部人口/一口当たり人口にて算出	-	- ~ -	-	人口	-	-	
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向(片対数一次)	-	2013 ~ 2023	0.896	-	$Y=-0.096\log 10X+1.526$	Y=一口当たり人口 X=時系列	乖離差補正を実施
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向(片対数一次)	気温閏補正後	2011 ~ 2023	0.955	-	$Y=-404.920\log 10X+3,961.027$	Y=原単位 X=時系列	乖離差補正を実施、2020,2021年度を観測期間から除外 新平年気温(1991年-2020年)を用いて気象補正した実績を用いて想定
		業務用	GDP・時系列重相関	気温閏補正後	2014 ~ 2023	0.936	GDP	$Y=23.216X1-1,065.191\sqrt{X2}+11,897.579$	Y=電力量 X1=GDP X2=時系列	乖離差補正を実施 新平年気温(1991年-2020年)を用いて気象補正した実績を用いて想定
		産業用その他	IIP相関(片対数一次)	閏補正後	2018 ~ 2023	0.919	IIP	$Y=95,027.207\log 10X-127,581.794$	Y=電力量 X=IIP	乖離差補正を実施

供給区域 中部

2024 年度

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	夏季電力量、変電所内消費電力量、送配電損失率、最大3日日負荷率などの諸元に基づき想定	-	-	-	-	-		
		夏季需要	-	-	-	-	-	-		
		ベース需要	-	-	-	-	-	-		
		その他	-	-	-	-	-	-		
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	-	-	-	-		
		冬季需要	-	-	-	-	-	-		
		ベース需要	-	-	-	-	-	-		
		その他	-	-	-	-	-	-		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×原単位にて算出	気温閾補正後	-	-	-	-	-	
		家庭用その他(口数)	中部人口/一口当たり人口にて算出	-	-	-	人口	-	-	
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向(片対数一次)	-	2013 ~ 2023	0.896	-	$Y = -0.096 \log 10X + 1.526$	Y=一口当たり人口 X=時系列	乖離差補正を実施
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向(片対数一次)	気温閾補正後	2011 ~ 2023	0.955	-	$Y = -404.920 \log 10X + 3,961.027$	Y=原単位 X=時系列	乖離差補正を実施、2020,2021年度を観測期間から除外 新平年気温(1991年-2020年)を用いて気象補正した実績を用いて想定
業務用		GDP・時系列重相関	気温閾補正後	2014 ~ 2023	0.936	GDP	$Y = 23.216X1 - 1,065.191\sqrt{X2} + 11,897.579$	Y=電力量 X1=GDP X2=時系列	乖離差補正を実施 新平年気温(1991年-2020年)を用いて気象補正した実績を用いて想定	
産業用その他		IIP相関(片対数一次)	閾補正後	2006 ~ 2022	0.612	IIP	$Y = 74,832.818 \log 10X - 88,450.681$	Y=電力量 X=IIP		

供給区域 中部

2024 年度

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	短期および長期想定手法で想定		
	最大需要電力(送電端)冬季	-		
	負荷率	夏季電力量、変電所内用電力量、送配電損失率、最大3日日負荷率などの諸元に基づき想定		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×原単位にて算出	
		家庭用その他(口数)	中部人口/一口当たり人口にて算出	
		家庭用その他(一口当たり人口)	各年度で個別想定を実施	
		家庭用その他(原単位)	各年度で個別想定を実施	
業務用	各年度で個別想定を実施			
産業用その他	長期回帰式に基づき想定	差分補正有		
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	月負荷率(上期:2019-2023年度実績平均・下期:2018-2022年度実績平均)により想定		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	年間電力量に実績月別比率(2017年度-2023年度平均、ただし2020,2021年度を除く)を乗じて想定	
		業務用	年間電力量に実績月別比率(2017年度-2023年度平均、ただし2020,2021年度を除く)を乗じて想定	
		産業用その他	年間電力量に実績月別比率(2018年度-2023年度平均、ただし2020年度を除く)を乗じて想定	
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	月負荷率(上期:2019-2023年度実績平均・下期:2018-2022年度実績平均)により想定		

供給区域 北陸

2024 年度

年度	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象閾補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	平均増減率(%) (参考)									
	2023	2023	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2023年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	4,944	4,729	4,729	4,750	4,750	4,750	4,740	4,740	4,730	4,730	4,730	4,720	4,720	-0.0
最大需要電力(送電端)冬季 MW	4,840	4,840	4,840	4,870	4,870	4,860	4,860	4,850	4,850	4,850	4,850	4,840	4,840	0.0
年負荷率 夏季 %	63.8	65.1	65.1	65.3	65.3	65.2	65.2	65.2	65.3	65.3	65.2	65.3	65.3	-
年負荷率 冬季 %	65.2	63.6	63.6	63.6	63.6	63.7	63.6	63.7	63.7	63.7	63.6	63.6	63.7	-
需要電力量合計(送電端) GWh	27,717	26,984	27,058	27,151	27,151	27,122	27,158	27,064	27,055	27,039	27,099	27,002	26,983	-0.0
送配電損失率 %	4.1	3.5	3.5	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	-
需要電力量合計(需要端) GWh	26,581	26,043	26,116	26,038	26,038	26,010	26,045	25,954	25,946	25,930	25,988	25,895	25,877	-0.1
変電所内用電力量 GWh	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	0.0
需要電力量合計(使用端) GWh	26,555	26,017	26,090	26,012	26,012	25,984	26,019	25,928	25,920	25,904	25,962	25,869	25,851	-0.1
家庭用その他 GWh	8,878	8,546	8,571	8,496	8,450	8,411	8,394	8,330	8,302	8,265	8,253	8,189	8,152	-0.5
業務用 GWh	5,000	4,829	4,842	4,805	4,782	4,759	4,750	4,716	4,694	4,673	4,665	4,630	4,609	-0.5
産業用その他 GWh	12,677	12,642	12,677	12,711	12,780	12,814	12,875	12,882	12,924	12,966	13,044	13,050	13,090	0.3
原単位(家庭用その他) kWh/口	4,041	3,890	3,901	3,869	3,850	3,832	3,826	3,800	3,786	3,772	3,770	3,748	3,736	-0.4
口数(家庭用その他) 千口	2,197	2,197	2,197	2,196	2,195	2,195	2,194	2,192	2,193	2,191	2,189	2,185	2,182	-0.1
人口/口数 人/口	1.31	1.31	1.31	1.30	1.29	1.28	1.27	1.26	1.25	1.25	1.24	1.23	1.22	-
夏季需要 MW	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ベース需要 MW	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
冬季需要 MW	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ベース需要 MW	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考														

S-2 供給区域需要想定(第1、2年度)

(事業者名)

北陸電力送配電株式会社

供給区域 北陸

2024 年度

(第1年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端) MW	3,650	3,360	3,905	4,750	4,750	4,200	3,470	3,755	4,485	4,870	4,870	4,165
	需要電力量合計(送電端) GWh	2,093	1,897	2,050	2,263	2,357	2,108	1,989	2,153	2,642	2,722	2,490	2,387
	需要電力量合計(使用端) GWh	2,078	1,908	1,960	2,094	2,249	2,095	1,896	2,016	2,309	2,585	2,455	2,367
	家庭用その他 GWh	766	609	524	526	657	597	510	618	791	1,064	980	854
	業務用 GWh	337	340	365	444	482	393	356	359	439	461	424	405
	産業用その他 GWh	975	959	1,071	1,124	1,110	1,105	1,030	1,039	1,079	1,060	1,051	1,108

(第2年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端) MW	3,650	3,360	3,905	4,750	4,750	4,200	3,470	3,755	4,485	4,870	4,870	4,165

供給区域 北陸

2024 年度

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	送電端電力量から、8月電力量比率・最大3日日量比率・最大3日日負荷率の想定諸元に基づいて想定	気温閾補正後	~					
		夏季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	送電端電力量から、1月電力量比率・最大3日日量比率・最大3日日負荷率の想定諸元に基づいて想定	気温閾補正後	~					
		冬季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数に原単位を乗じて想定		~					
		家庭用その他(口数)	人口を一口当たり人口で除して想定		~		人口			
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向により想定		2014 ~ 2023	0.9918 0.8698		$Y=-0.013X+1.445$ $Y=-0.050\ln(X)+1.450$	$Y=$ 一口当たり人口 $X=$ 時系列	実数一次と片対数の折半
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向(コロナなかりせば)により想定	気温閾補正後	2014 ~ 2023	0.7234		$Y=-221.92\ln(X)+4,626.25$	$Y=$ 原単位 $X=$ 時系列	片対数
業務用		時系列傾向(コロナなかりせば)により想定	気温閾補正後	2014 ~ 2023	0.8769 0.7101		$Y=-34.93X+5,184.59$ $Y=-131.71\ln(X)+5,191.42$	$Y=$ 電力量 $X=$ 時系列	実数一次と片対数の折半	
産業用その他		個社動向等により想定	-	~					相関式を使用せず	

供給区域 北陸

2024 年度

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	送電端電力量から、8月電力量比率・最大3日日量比率・最大3日日負荷率の想定諸元に基づいて想定	気温閾補正後	~					
		夏季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	送電端電力量から、1月電力量比率・最大3日日量比率・最大3日日負荷率の想定諸元に基づいて想定	気温閾補正後	~					
		冬季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数に原単位を乗じて想定		~					
		家庭用その他(口数)	人口を一口当たり人口で除して想定		~		人口			
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向により想定		2014 ~ 2023	0.9918 0.8698		$Y=-0.013X+1.445$ $Y=-0.050\ln(X)+1.450$	$Y=一口当たり人口$ $X=時系列$	実数一次と片対数の折半
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向(コロナなかりせば)により想定	気温閾補正後	2014 ~ 2023	0.7234		$Y=-221.92\ln(X)+4,626.25$	$Y=原単位$ $X=時系列$	片対数
業務用		時系列傾向(コロナなかりせば)により想定	気温閾補正後	2014 ~ 2023	0.8769 0.7101		$Y=-34.93X+5,184.59$ $Y=-131.71\ln(X)+5,191.42$	$Y=電力量$ $X=時系列$	実数一次と片対数の折半	
産業用その他		IIP相関により想定	-	2016 ~ 2023	0.7443	IIP	$Y=9,599.26\ln(X)-31,536.89$	$Y=電力量$ $X=IIP$	片対数	

供給区域 北陸

2024 年度

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	第3～9年度は長期想定方法(短期想定方法と同一)に基づき想定		
	最大需要電力(送電端)冬季	第3～9年度は長期想定方法(短期想定方法と同一)に基づき想定		
	負荷率			
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数に原単位を乗じて想定	
		家庭用その他(口数)	人口を一口当たり人口で除して想定	
		家庭用その他(一口当たり人口)	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	
		家庭用その他(原単位)	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	
業務用		第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定		
産業用その他	第3～4年度は個社動向等に基づき想定、第5～9年度は長期回帰式に基づき想定	第5～9年度は差分補正あり		
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	上期(4月～9月): 8月送電端最大3日平均電力想定値から、過去5か年(2018.10～2023.9)の月別8月H3需要比率(気温補正後)の平均値にて月別に展開 下期(10月～3月): 1月送電端最大3日平均電力想定値から、過去5か年(2018.10～2023.9)の月別1月H3需要比率(気温補正後)の平均値にて月別に展開		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	年度需要電力量から、3か年(2021～2023)の平均月別補正後電力量比率にて月別に展開	
		業務用	〃	
		産業用その他	個社動向等に基づき、月別に展開	
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	上期(4月～9月): 8月送電端最大3日平均電力想定値から、過去5か年(2018.10～2023.9)の月別8月H3需要比率(気温補正後)の平均値にて月別に展開 下期(10月～3月): 1月送電端最大3日平均電力想定値から、過去5か年(2018.10～2023.9)の月別1月H3需要比率(気温補正後)の平均値にて月別に展開		

供給区域 関西

2024 年度

年度		推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象閾補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	平均増減率(% (参考))									
		2023	2023	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2023年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季	MW	26,918	26,107	26,107	26,467	26,562	26,550	26,613	26,660	26,646	26,608	26,563	26,521	26,457	0.1
最大需要電力(送電端)冬季	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年負荷率 夏季	%	58.4	58.9	58.9	58.1	58.2	58.4	58.7	58.8	58.9	59.0	59.1	59.2	59.2	—
年負荷率 冬季	%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
需要電力量合計(送電端)	GWh	138,173	134,615	134,984	134,714	135,523	135,938	137,155	137,365	137,565	137,561	137,890	137,461	137,258	0.2
送配電損失率	%	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	—
需要電力量合計(需要端)	GWh	131,086	127,763	128,113	127,882	128,678	129,092	130,271	130,494	130,694	130,702	131,026	130,626	130,443	0.2
変電所内用電力量	GWh	199	198	199	198	198	198	199	198	198	198	199	198	198	-0.1
需要電力量合計(使用端)	GWh	130,887	127,565	127,914	127,684	128,480	128,894	130,072	130,296	130,496	130,504	130,827	130,428	130,245	0.2
家庭用その他	GWh	47,690	45,345	45,469	44,913	44,494	44,328	44,261	43,960	43,773	43,564	43,480	43,134	42,916	-0.6
業務用	GWh	34,037	33,194	33,285	33,218	33,334	33,200	33,275	33,167	33,151	33,134	33,208	33,101	33,084	-0.1
産業用その他	GWh	49,160	49,026	49,160	49,553	50,652	51,366	52,536	53,169	53,572	53,806	54,139	54,193	54,245	1.0
原単位(家庭用その他)	kWh/口	3,324	3,161	3,169	3,128	3,097	3,085	3,080	3,060	3,048	3,035	3,031	3,010	2,998	-0.6
口数(家庭用その他)	千口	14,346	14,346	14,346	14,358	14,367	14,369	14,369	14,366	14,361	14,354	14,344	14,330	14,315	-0.0
人口/口数	人/口	1.41	1.41	1.41	1.40	1.40	1.39	1.38	1.37	1.36	1.35	1.35	1.34	1.33	—
夏季需要	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
冬季需要	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備考	2023年度夏季最大需要電力発生月 H1:7月 H2:7月 H3:8月														

供給区域 関西2024 年度

(第1年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端) MW	17,089	17,661	20,451	26,467	26,467	22,093	18,297	18,073	22,421	24,105	24,105	20,043
	需要電力量合計(送電端) GWh	9,862	9,836	10,456	12,374	13,117	10,927	10,194	10,250	11,950	13,001	11,548	11,199
	需要電力量合計(使用端) GWh	10,071	9,595	9,589	10,573	12,314	11,359	9,848	9,708	10,033	12,184	11,515	10,895
	家庭用その他 GWh	3,473	3,213	2,784	3,079	4,465	3,837	2,888	3,254	3,489	5,442	4,782	4,207
	業務用 GWh	2,560	2,381	2,593	2,973	3,393	3,220	2,724	2,460	2,553	2,833	2,858	2,670
	産業用その他 GWh	4,038	4,001	4,212	4,521	4,456	4,302	4,236	3,994	3,991	3,909	3,875	4,018

(第2年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端) MW	17,189	17,775	20,575	26,562	26,562	22,227	18,396	18,153	22,493	24,170	24,170	20,119

供給区域 関西

2024 年度

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2010 ~ 2023	0.857	-	$Y=0.01\log X+0.775$	X: 日負荷率移動平均	・第1年度は2021~2023年度実績平均、第2年度は時系列傾向(第1年度を起点とした補正を実施) ・観測期間では2020~2022年度を除く ・第1~2年度はDC需要、第2年度は万博需要を個別に加算
		夏季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率			~					
		冬季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数と原単位より想定		~					
		家庭用その他(口数)	人口と一口あたり人口より想定		~		人口			
		家庭用その他(一口あたり人口)	時系列傾向	補正なし	2011 ~ 2023	(A)0.958 (B)0.881	-	直線(A): $Y=-0.0105X+1.56$ ルート(B): $Y=-0.048\sqrt{X}+1.61$	Y: 一口あたり人口 X: 時系列	直線とルートの折半
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向	気温閾補正後	2012 ~ 2023	0.802	-	$Y=-232\sqrt{X}+4172.84$	Y: 原単位 X: 時系列	
業務用		電力量とGDP・時系列の重相関により想定	気温閾補正後	2012 ~ 2023	0.809	GDP	$Y=27.87X1-1036.07\sqrt{X2}+21,867.33$	Y: 電力量 X1: GDP、X2: 時系列	・第2年度は万博需要を個別に加算	
産業用その他		電力量とIIP・時系列の重相関により想定	閾補正後	2013 ~ 2023	0.958	IIP	$Y=297.36X1-1,408.66\log X2+21,524.14$	Y: 電力量 X1: IIP、X2: 時系列	・第1~2年度はDC需要を個別に加算	

供給区域 関西

2024 年度

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2010 ~ 2023	0.857	-	$Y=0.011\log X+0.775$	X: 日負荷率移動平均	・第10年度はDC需要を個別に加算
		夏季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率			~					
		冬季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数と原単位より想定		~					
		家庭用その他(口数)	人口と一口あたり人口より想定		~		人口			
		家庭用その他(一口あたり人口)	時系列傾向	補正なし	2011 ~ 2023	(A)0.958 (B)0.881	-	直線(A): $Y=-0.0105X+1.56$ ルート(B): $Y=-0.048\sqrt{X}+1.61$	Y: 一口あたり人口 X: 時系列	直線とルートの折半
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向	気温補正後	2010 ~ 2023	0.904	-	$Y=-299\sqrt{X}+4464.40$	Y: 原単位 X: 時系列	
業務用		電力量とGDP・時系列の重相関により想定	気温補正後	2012 ~ 2023	0.809	GDP	$Y=27.87X1$ $-1036.07\sqrt{X2}+21,867.33$	Y: 電力量 X1: GDP、X2: 時系列		
産業用その他		電力量とIIP・時系列の重相関により想定	間補正後	2011 ~ 2023	0.965	IIP	$Y=252.71X1-2,786.84\log X2$ $+29,724.84$	Y: 電力量 X1: IIP、X2: 時系列	・第10年度はDC需要を個別に加算	

供給区域 関西

2024 年度

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	長期・短期同様、日負荷率による想定	・第3～9年度はDC需要を個別に加算	
	最大需要電力(送電端)冬季			
	負荷率			
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数と原単位より想定	
		家庭用その他(口数)	人口を一口あたり人口で除して想定	
		家庭用その他(一口当たり人口)	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	
		家庭用その他(原単位)	第3～10年度までを等差で繋いで想定	
業務用	第3～10年度までを等差で繋いで想定			
産業用その他	第3～10年度までを等差で繋いで想定	・第3～9年度はDC需要を個別に加算		
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	月負荷率(2017～2022年度実績平均)により想定 ※2020年度実績を除く	・DC需要を個別に加算	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	2017～2022年度の月別構成比により想定 ※2020年度実績を除く	
		業務用	2017～2022年度の月別構成比により想定 ※2020年度実績を除く	
		産業用その他	2017～2022年度の月別構成比により想定 ※2020年度実績を除く	・DC需要を個別に加算
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	月負荷率(2017～2022年度実績平均)により想定 ※2020年度実績を除く	・DC需要を個別に加算 ・4～10月は万博需要を個別に加算	

供給区域 中国

2024 年度

年度	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象間補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	平均増減率(% (参考))									
	2023	2023	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2023年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	10,185	-	10,244	10,390	10,380	10,400	10,440	10,580	10,830	10,920	11,000	11,030	11,030	0.7
最大需要電力(送電端)冬季 MW	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年負荷率 夏季 %	63.8	-	62.5	62.3	62.3	62.5	62.4	62.8	62.9	63.0	62.9	62.9	62.9	0.1
年負荷率 冬季 %	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
需要電力量合計(送電端) GWh	57,105	56,062	56,215	56,682	56,619	56,969	57,233	58,177	59,663	60,236	60,818	60,752	60,756	0.8
送配電損失率 %	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	-
需要電力量合計(需要端) GWh	54,250	53,259	53,404	53,848	53,788	54,121	54,371	55,268	56,680	57,224	57,777	57,714	57,718	0.7
変電所内用電力量 GWh	53	53	53	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	0.0
需要電力量合計(使用端) GWh	54,197	53,206	53,351	53,798	53,738	54,071	54,321	55,218	56,630	57,174	57,727	57,664	57,668	0.8
家庭用その他 GWh	18,668	18,118	18,167	18,103	18,057	17,983	17,959	17,836	17,762	17,688	17,663	17,541	17,467	-0.4
業務用 GWh	10,389	10,017	10,044	10,235	10,218	10,208	10,226	10,188	10,178	10,168	10,186	10,148	10,137	0.1
産業用その他 GWh	25,140	25,071	25,140	25,460	25,463	25,880	26,136	27,194	28,690	29,318	29,878	29,975	30,064	1.8
原単位(家庭用その他) kWh/口	3,496	3,393	3,402	3,389	3,380	3,376	3,381	3,368	3,367	3,364	3,370	3,358	3,356	-0.1
口数(家庭用その他) 千口	5,340	5,340	5,340	5,342	5,342	5,327	5,312	5,296	5,275	5,258	5,241	5,224	5,205	-0.3
人口/口数 人/口	1.33	1.33	1.33	1.32	1.31	1.31	1.30	1.30	1.30	1.29	1.29	1.28	1.28	-
夏季需要 MW	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ベース需要 MW	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
冬季需要 MW	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ベース需要 MW	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考														

S-2 供給区域需要想定(第1、2年度)

(事業者名) 中国電力ネットワーク株式会社

供給区域 中国

2024 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	7,100	7,160	8,280	10,390	10,390	9,080	7,560	7,950	9,780	9,950	9,950	8,450
	需要電力量合計(送電端)	GWh	4,255	4,088	4,379	4,878	5,315	4,483	4,025	4,512	5,275	5,272	5,080	5,120
	需要電力量合計(使用端)	GWh	4,253	4,021	4,038	4,373	4,856	4,550	4,116	4,150	4,526	5,174	5,004	4,737
	家庭用その他	GWh	1,475	1,281	1,160	1,181	1,580	1,430	1,156	1,290	1,560	2,162	2,051	1,777
	業務用	GWh	771	725	775	912	1,035	934	797	751	833	938	923	841
	産業用その他	GWh	2,007	2,015	2,103	2,280	2,241	2,186	2,163	2,109	2,133	2,074	2,030	2,119

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	7,100	7,150	8,270	10,380	10,380	9,070	7,560	7,940	9,770	9,940	9,940	8,440

供給区域 中国

2024 年度

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考		
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2022 ~ 2023	-	-	-	-	・節電傾向が明確になった2022年度以降を使用	
		夏季需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-	
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	~	-	-	-	-	-	
		冬季需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	「口数×原単位」法	気温閾補正後	~	-	-	-	-	-	・コロナ影響なかりせば電力量から想定
		家庭用その他(口数)	人口/一口当たり人口	-	~	-	人口	-	-	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列	-	~	-	-	-	X:時系列	-	-
		家庭用その他(原単位)	時系列	気温閾補正後	~	-	-	-	X:時系列	-	・コロナ影響なかりせば電力量から想定
		業務用	時系列	気温閾補正後	2018 ~ 2023	0.903	-	$Y = -126,784 \ln X + 11,027,863$	X:時系列	-	・コロナ・節電影響なかりせば電力量から想定
産業用その他		・産業用特高(一部):個別需要者想定 ・上記個別需要者想定以外:IIP単相関	補正なし	2016 ~ 2023	0.882	IIP	$Y = 13,483 \ln X - 42,329$	X:IIP	-	-	

供給区域 中国

2024 年度

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考		
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2022 ~ 2023	-	-	-	-	・節電傾向が明確になった2022年度以降を使用	
		夏季需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-	
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	~	-	-	-	-	-	
		冬季需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	「口数×原単位」法	気温閏補正後	~	-	-	-	-	-	・コロナ影響および平成30年7月豪雨影響なかりせば電力量から想定
		家庭用その他(口数)	人口/一口当たり人口	-	~	-	人口	-	-	-	
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列	-	2013 ~ 2022	0.997 0.899	-	$Y = -0.010 X + 1.436$ $Y = -0.038 \ln X + 1.440$	X:時系列	・一次式と対数式の折半	
		家庭用その他(原単位)	時系列	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.891	-	$Y = -108.393 \ln X + 3.967.79$	X:時系列	・コロナ影響および平成30年7月豪雨影響なかりせば原単位から想定	
業務用		時系列	気温閏補正後	2010 ~ 2022	0.897	-	$Y = -285.975 \ln X + 11,618,041$	X:時系列	・コロナ・節電影響なかりせば電力量から想定		
産業用その他		IIP単相関	補正なし	2013 ~ 2022	0.889	IIP	$Y = 11.823 \ln X - 34,553$	X:IIP	・個別需要者動向により補正		

供給区域 中国

2024 年度

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	各年度ごとに、使用端電力量から負荷率方式で算出した値に超大口個社を上乗せして算定	-	
	最大需要電力(送電端)冬季	-	-	
	負荷率	2024年度と2032年度の想定結果を踏まえ算定	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	第3~9年度は長期回帰式に基づき想定	第3~9年度は差分補正有
		家庭用その他(口数)	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	-	-
		家庭用その他(原単位)	-	-
業務用		第3~9年度は長期回帰式に基づき想定	第3~9年度は差分補正有	
産業用その他	第3~9年度は長期回帰式に基づき想定	第3~9年度は差分補正有		
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	8月(または1月)最大電力想定値と至近3か年平均の夏季(または冬季)比率(夏季(または冬季)最大電力に対する月別最大電力比率)から算出	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	過去実績をもとに月別変動係数を算定し、年度の電力量に乗じて月別電力量を算出	-
		業務用	過去実績をもとに月別変動係数を算定し、年度の電力量に乗じて月別電力量を算出	-
		産業用その他	過去実績をもとに月別変動係数を算定し、年度の電力量に乗じて月別電力量を算出	-
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	8月(または1月)最大電力想定値と至近3か年平均の夏季(または冬季)比率(夏季(または冬季)最大電力に対する月別最大電力比率)から算出	-	

供給区域 四国

2024 年度

年度	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象閏補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	平均増減率(% (参考))									
	2023	2023	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2023年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	4,839	4805	4805	4,780	4,750	4,730	4,700	4,670	4,650	4,620	4,590	4,560	4,540	-0.6
最大需要電力(送電端)冬季 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年負荷率 夏季 %	60.7%	60.1	60.1	60.5%	60.5%	60.4%	60.5%	60.5%	60.4%	60.4%	60.5%	60.5%	60.4%	—
年負荷率 冬季 %	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
需要電力量合計(送電端) GWh	25,778	25,312	25,379	25,320	25,179	25,036	24,960	24,750	24,609	24,459	24,380	24,166	24,024	-0.5
送配電損失率 %	4.9	4.6	4.6	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	—
需要電力量合計(需要端) GWh	24,516	24,157	24,223	24,029	23,895	23,759	23,687	23,488	23,354	23,212	23,137	22,934	22,799	-0.6
変電所所内用電力量 GWh	32	32	32	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	0.3
需要電力量合計(使用端) GWh	24,484	24,125	24,191	23,996	23,862	23,726	23,654	23,455	23,321	23,179	23,104	22,901	22,766	-0.6
家庭用その他 GWh	10,077	9,918	9,945	9,807	9,707	9,604	9,526	9,397	9,294	9,190	9,112	8,983	8,879	-1.1
業務用 GWh	5,532	5,356	5,371	5,300	5,251	5,208	5,183	5,132	5,095	5,064	5,049	5,008	4,981	-0.8
産業用その他 GWh	8,875	8,851	8,875	8,889	8,904	8,914	8,945	8,926	8,932	8,925	8,943	8,910	8,906	0.0
原単位(家庭用その他) kWh/口	3,506	3,451	3,460	3,415	3,379	3,342	3,315	3,269	3,233	3,197	3,168	3,123	3,087	-1.1
口数(家庭用その他) 千口	2,874	2,874	2,874	2,872	2,873	2,874	2,874	2,875	2,875	2,875	2,876	2,876	2,876	0.0
人口/口数 人/口	1.25	1.25	1.25	1.24	1.22	1.21	1.20	1.19	1.18	1.17	1.16	1.14	1.13	—
夏季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
冬季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備考														

S-2 供給区域需要想定(第1、2年度)

(事業者名) 四国電力送配電株式会社

供給区域 四国

2024 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	3,220	3,300	3,840	4,780	4,780	4,230	3,580	3,400	4,590	4,590	4,590	3,790
	需要電力量合計(送電端)	GWh	1,887	1,850	1,957	2,296	2,354	2,032	1,923	1,947	2,298	2,442	2,192	2,143
	需要電力量合計(使用端)	GWh	1,838	1,801	1,807	2,019	2,243	1,977	1,827	1,817	1,968	2,442	2,132	2,125
	家庭用その他	GWh	752	712	600	686	935	778	663	703	785	1,232	1,010	951
	業務用	GWh	363	381	430	528	545	446	398	384	462	492	442	429
	産業用その他	GWh	723	708	777	805	763	753	766	730	721	718	680	745

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	3,210	3,280	3,820	4,750	4,750	4,210	3,560	3,380	4,570	4,570	4,570	3,770

供給区域 四国

2024 年度

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	関連式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	至近実績(気温補正後)の平均値	気温閏補正後	2019 ~ 2023	-	-	-	-	2019,2020,2021年度を除外
		夏季需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		その他	変電所所内:至近実績の平均値 送配電損失率:至近実績(気温補正前)の平均値	補正なし	2019 ~ 2023 2020 ~ 2022	-	-	-	-	-
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	~	-	-	-	-	-
		冬季需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	-	-	~	-	-	-	-	-
		家庭用その他(口数)	-	-	~	-	-	-	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向	補正なし	2014 ~ 2023	0.998	人口	$y = -0.01x + 1.4$	$y = \text{一口当たり人口}$ $x = \text{時系列}$	-
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向	気温閏補正後	2012 ~ 2023	0.874	-	$y = -36.4x + 3,907.6$	$y = \text{原単位}$ $x = \text{時系列}$	-
業務用		時系列と経済指標の重相関	気温閏補正後	2017 ~ 2023	0.730	GDP	$y = -268.3\ln(x1) - 1,908.6\ln(x2) + 18,049.7$	$y = \text{電力量}$ $x1 = \text{時系列}$ $x2 = \text{GDP}$	-	
産業用その他		時系列と経済指標の重相関	閏補正後	2012 ~ 2023	0.925	IIP	$y = -315.8\ln(x1) + 3,794.0\ln(x2) - 7,867.3$	$y = \text{電力量}$ $x1 = \text{時系列}$ $x2 = \text{IIP}$	2022年度を除外	

供給区域 四国

2024 年度

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	関連式	関連式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	至近実績(気温補正後)の平均値	気温閏補正後	2019 ~ 2023	-	-	-	-	2019,2020,2021年度を除外
		夏季需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		その他	変電所内:至近実績の平均値 送配電損失率:至近実績(気温補正前)の平均値	補正なし	2019 ~ 2023 2020 ~ 2022	-	-	-	-	-
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	~	-	-	-	-	-
		冬季需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	-	-	~	-	-	-	-	-
		家庭用その他(口数)	-	-	~	-	-	-	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向	補正なし	2014 ~ 2023	0.998	人口	$y = -0.01x + 1.4$	$y = \text{一口当たり人口}$ $x = \text{時系列}$	-
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向	気温閏補正後	2012 ~ 2023	0.874	-	$y = -36.4x + 3,907.6$	$y = \text{原単位}$ $x = \text{時系列}$	-
		業務用	時系列と経済指標の重相関	気温閏補正後	2017 ~ 2023	0.730	GDP	$y = -268.3\ln(x1) - 1,908.6\ln(x2) + 18,049.7$	$y = \text{電力量}$ $x1 = \text{時系列}$ $x2 = \text{GDP}$	-
		産業用その他	時系列と経済指標の重相関	閏補正後	2012 ~ 2023	0.925	IIP	$y = -315.8\ln(x1) + 3,794.0\ln(x2) - 7,867.3$	$y = \text{電力量}$ $x1 = \text{時系列}$ $x2 = \text{IIP}$	2022年度を除外

供給区域 四国

2024 年度

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	短期と同様の手法で想定	-	
	最大需要電力(送電端)冬季	-	-	
	負荷率	短期と同様の手法で想定	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	各年度個別想定(短期・長期同一の推計式)	-
		家庭用その他(口数)	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	-	-
		家庭用その他(原単位)	-	-
		業務用	各年度個別想定(短期・長期同一の推計式)	-
産業用その他		各年度個別想定(短期・長期同一の推計式)	-	
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	$\{(\text{需要電力量(使用端)} \times \text{気温補正後}) + \text{変電所内}\} \div (1 - \text{送配電損失率}) \times \text{月配分率} \div \text{日数} \times \text{H3平均日量比率} \div \text{日負荷率}$	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	過去の実績傾向を基に配分	-
		業務用	過去の実績傾向を基に配分	-
		産業用その他	過去の実績傾向を基に配分	-
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	第1年度と同様に、気温補正後の需要電力量(使用端)から負荷率等を用いて想定	-	

供給区域 九州

2024 年度

		推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象間補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	平均増減率(% (参考))									
年度		2023	2023	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2023年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端) 夏季	MW	15,750	15,548	15,548	15,380	15,440	15,510	15,560	15,570	15,600	15,580	15,560	15,530	15,510	-0.0
最大需要電力(送電端) 冬季	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年負荷率 夏季	%	61.9	62.0	62.0	62.9	63.0	63.1	63.2	63.2	63.2	63.2	63.2	63.2	63.2	—
年負荷率 冬季	%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
需要電力量合計(送電端)	GWh	85,613	84,411	84,642	84,769	85,216	85,697	86,319	86,167	86,354	86,245	86,371	85,996	85,868	0.1
送配電損失率	%	5.2	5.2	5.2	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	—
需要電力量合計(需要端)	GWh	81,453	79,626	79,844	80,609	81,035	81,492	82,084	81,939	82,117	82,013	82,133	81,776	81,655	0.2
変電所所内用電力量	GWh	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	0.0
需要電力量合計(使用端)	GWh	81,363	79,537	79,754	80,520	80,945	81,402	81,994	81,850	82,028	81,924	82,043	81,687	81,565	0.2
家庭用その他	GWh	32,477	31,289	31,375	31,400	31,307	31,220	31,217	31,046	30,961	30,875	30,877	30,712	30,625	-0.2
業務用	GWh	18,859	18,303	18,353	18,508	18,514	18,501	18,520	18,439	18,431	18,369	18,356	18,234	18,169	-0.1
産業用その他	GWh	30,027	29,944	30,026	30,612	31,124	31,681	32,257	32,365	32,636	32,680	32,810	32,741	32,771	0.9
原単位(家庭用その他)	kWh/口	3,461	3,380	3,380	3,366	3,354	3,343	3,332	3,323	3,313	3,305	3,297	3,289	3,282	-0.3
口数(家庭用その他)	千口	9,383	9,383	9,383	9,390	9,397	9,402	9,406	9,407	9,407	9,406	9,404	9,401	9,395	0.0
人口/口数	人/口	1.34	1.34	1.34	1.33	1.32	1.31	1.31	1.30	1.29	1.28	1.27	1.27	1.26	—
夏季需要	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
冬季需要	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用その他の原単位はコロナ(2020・2021年度)・節電なかりせば原単位(2022・2023年度)を使用 ・業務用の原単位は節電なかりせば原単位(2022・2023年度)を使用 ・家庭用その他・業務用については節電なかりせば原単位にて相関し、算定結果より節電量を差し引いて想定【節電量:家庭用 2.1億kWh、業務用 1.6億kWh(2024以降一律)】 ・産業用その他については相関結果に加え、九州の実績傾向及び経済指標に含まれない大規模需要について個別織込みを実施【個別織込み量:2024年度 5.0億kWh~2033年度 21.1億kWh】 														

S-2 供給区域需要想定(第1、2年度)

(事業者名) 九州電力送配電株式会社

供給区域 九州

2024 年度

(第1年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端) MW	9,760	10,760	12,130	15,380	15,380	13,420	11,230	11,510	13,820	14,480	14,480	11,970
	需要電力量合計(送電端) GWh	6,195	6,078	6,581	7,896	7,968	6,874	6,433	6,443	7,831	8,224	7,260	6,986
	需要電力量合計(使用端) GWh	6,355	5,780	6,070	6,792	7,581	7,257	6,364	6,098	6,500	7,472	7,495	6,756
	家庭用その他 GWh	2,505	2,062	2,086	2,364	2,929	2,750	2,126	2,169	2,628	3,419	3,544	2,818
	業務用 GWh	1,394	1,272	1,372	1,636	1,906	1,842	1,574	1,383	1,387	1,619	1,634	1,489
	産業用その他 GWh	2,456	2,446	2,612	2,792	2,746	2,665	2,664	2,546	2,485	2,434	2,317	2,449

(第2年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端) MW	9,800	10,800	12,170	15,440	15,440	13,470	11,280	11,590	13,910	14,580	14,580	12,050

供給区域 九州

2024 年度

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2021 ~ 2023	-	-	過去3年平均	-	-
		夏季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2020 ~ 2022	-	-	過去3年平均	-	-
		冬季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×原単位	-	- ~ -	-	-	-	-	-
			家庭用その他(口数)	供給区域内人口/一口あたり人口	-	- ~ -	-	-	-	-
		家庭用その他(一口あたり人口)	時系列相関	-	2013 ~ 2023	①0.995 ②0.927	人口	Y=-0.013X+1.476(実数) Y=-0.055lnX+1.488(片対数)	Y:一口あたり人口 X:時系列	一口あたり人口は①実数一次と②片対数一次の 想定結果を折半
		家庭用その他(原単位)	時系列相関	気温閏補正後	2014 ~ 2023	0.864	-	Y=-140.958lnX+3766.694	Y:原単位 X:時系列	コロナ節電なかりせば原単位から想定
		業務用	GDP×原単位(電力量/GDP) ※原単位は時系列相関	気温補正後	2013 ~ 2023	0.836	GDP	Y=-0.282X+36.600	Y:原単位 X:時系列	-
		産業用その他	IIP相関	補正なし	2013 ~ 2023	0.817	IIP	Y=11460.898lnX-23819.925	Y:電力量 X:IIP	2022除き

供給区域 九州

2024 年度

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考		
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2021 ~ 2023	-	-	過去3年平均	-	-	
		夏季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-	
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2020 ~ 2022	-	-	過去3年平均	-	-	
		冬季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×原単位	-	- ~ -	-	-	-	-	-	-
			家庭用その他(口数)	供給区域内人口/一口あたり人口	-	- ~ -	-	-	-	-	-
		家庭用その他(一口あたり人口)	時系列相関	-	2013 ~ 2023	①0.995 ②0.927	人口	$Y=-0.013X+1.476$ (実数) $Y=-0.055\ln X+1.488$ (片対数)	Y:一口あたり人口 X:時系列	一口あたり人口は①実数一次と②片対数一次の 想定結果を折半	
		家庭用その他(原単位)	時系列相関	気温閾補正後	2014 ~ 2023	0.864	-	$Y=-140.958\ln X+3766.694$	Y:原単位 X:時系列	コロナ節電なかりせば原単位から想定	
		業務用	GDP×原単位(電力量/GDP) ※原単位は時系列相関	気温補正後	2013 ~ 2023	0.836	GDP	$Y=-0.282X+36.600$	Y:原単位 X:時系列	-	
		産業用その他	IIP相関	補正なし	2013 ~ 2023	0.817	IIP	$Y=11460.898\ln X-23819.925$	Y:電力量 X:IIP	2022除き	

供給区域 九州

2024 年度

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	各年度の想定電力量及び日負荷率等の想定諸元から算定		
	最大需要電力(送電端)冬季	各年度の想定電力量及び日負荷率等の想定諸元から算定		
	負荷率	短期及び長期と同一		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	各年度の口数×原単位で想定	
		家庭用その他(口数)	-	
		家庭用その他(一口当たり人口)	第3～9年度は長期回帰式に基づき想定	
		家庭用その他(原単位)	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	
業務用		第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定		
産業用その他	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定			
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	過去の実績傾向を勘案し算定した各月の比率をもとに、2024年度の月別最大需要電力を想定(4月～10月:8月比率、11月～3月:1月比率)。		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	過去の実績傾向を勘案し算定した各月の比率をもとに、2024年度の電力量を按分し、想定。	
		業務用	過去の実績傾向を勘案し算定した各月の比率をもとに、2024年度の電力量を按分し、想定。	
		産業用その他	過去の実績傾向を勘案し算定した各月の比率をもとに、2024年度の電力量を按分し、想定。	
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	過去の実績傾向を勘案し算定した各月の比率をもとに、2025年度の月別最大需要電力を想定(4月～10月:8月比率、11月～3月:1月比率)。		

供給区域 沖縄

2024 年度

		推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象間補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	平均増減率(% (参考))									
年度		2023	2023	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2023年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季	MW	1,577	1,569	1,569	1,571	1,580	1,589	1,599	1,608	1,618	1,627	1,637	1,647	1,657	0.5
最大需要電力(送電端)冬季	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年負荷率 夏季	%	58.1	58.0	58.0	58.5	58.5	58.5	58.4	58.5	58.4	58.4	58.4	58.5	58.5	—
年負荷率 冬季	%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
需要電力量合計(送電端)	GWh	8,051	7,978	8,000	8,046	8,091	8,140	8,209	8,234	8,284	8,330	8,406	8,437	8,486	0.6
送配電損失率	%	4.4	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	—
需要電力量合計(需要端)	GWh	7,697	7,635	7,657	7,692	7,735	7,782	7,848	7,872	7,920	7,964	8,036	8,066	8,113	0.6
変電所内用電力量	GWh	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	0.0
需要電力量合計(使用端)	GWh	7,692	7,630	7,652	7,687	7,730	7,777	7,843	7,867	7,915	7,959	8,031	8,061	8,108	0.6
家庭用その他	GWh	3,541	3,511	3,521	3,540	3,564	3,591	3,627	3,642	3,670	3,695	3,736	3,758	3,786	0.7
業務用	GWh	2,867	2,838	2,846	2,851	2,864	2,877	2,897	2,902	2,915	2,928	2,949	2,954	2,967	0.4
産業用その他	GWh	1,285	1,281	1,285	1,296	1,303	1,309	1,320	1,322	1,329	1,336	1,346	1,349	1,355	0.5
原単位(家庭用その他)	kWh/口	3,566	3,536	3,546	3,522	3,504	3,490	3,488	3,465	3,452	3,440	3,440	3,419	3,408	-0.4
口数(家庭用その他)	千口	993	993	993	1,005	1,017	1,029	1,040	1,051	1,063	1,074	1,086	1,099	1,111	1.1
人口/口数	人/口	1.48	1.48	1.48	1.47	1.45	1.44	1.42	1.41	1.40	1.38	1.37	1.35	1.34	—
夏季需要	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
冬季需要	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備考	原単位(家庭用その他) = 需要電力量(MWh) ÷ 口数(口)														

S-2 供給区域需要想定(第1、2年度)

(事業者名) 沖縄電力株式会社

供給区域 沖縄

2024 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	1,024	1,290	1,488	1,571	1,571	1,524	1,340	1,119	960	1,043	958	938
	需要電力量合計(送電端)	GWh	552	637	764	896	868	784	691	583	590	594	520	566
	需要電力量合計(使用端)	GWh	546	562	654	754	853	812	711	618	554	596	522	502
	家庭用その他	GWh	244	249	297	355	414	393	325	263	242	295	235	228
	業務用	GWh	200	208	244	282	318	301	275	246	208	198	189	179
	産業用その他	GWh	102	105	113	117	121	118	111	109	104	103	98	95

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	1,030	1,297	1,496	1,580	1,580	1,533	1,348	1,125	965	1,049	964	943

供給区域 沖縄

2024 年度

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率実績平均	気温補正後	2021 ~ 2023	-	-	-	-	-
		夏季需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	~	-	-	-	-	-
		冬季需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×原単位	-	~	-	-	-	-	-
		家庭用その他(口数)	人口と人口/口数により算出	-	~	-	人口	-	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列相関 実数1次	-	2017 ~ 2023	0.978	-	$Y = -0.015X + 1.579$	-	-
		家庭用その他(原単位)	時系列相関 片対数	気温閏補正後	2010 ~ 2023	0.938	-	$Y = -238.906\log X + 4188.667$	-	2020、2021、2022年度実績はコロナ影響補正後
		業務用	時系列相関 実数1次	気温閏補正後	2011 ~ 2023	0.733	-	$Y = 12.895X + 2713.17$	-	2020、2021年度実績はコロナ影響補正後
産業用その他		時系列相関 実数1次	閏補正後	2011 ~ 2023	0.618	-	$Y = 6.528X + 1065.124$	-	2020、2021年度実績はコロナ影響補正後	

供給区域 沖縄

2024 年度

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率実績平均	気温補正後	2021 ~ 2023	-	-	-	-	
		夏季需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	~	-	-	-	-	-
		冬季需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×原単位	-	~	-	-	-	-	-
		家庭用その他(口数)	人口と人口/口数により算出	-	~	-	人口	-	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列相関 実数1次	-	2017 ~ 2023	0.978	-	$Y = -0.015X + 1.579$	-	-
		家庭用その他(原単位)	時系列相関 片対数	気温閏補正後	2010 ~ 2023	0.938	-	$Y = -238.906\log X + 4188.667$	-	2020、2021、2022年度実績はコロナ影響補正後
		業務用	時系列相関 実数1次	気温閏補正後	2011 ~ 2023	0.733	-	$Y = 12.895X + 2713.17$	-	2020、2021年度実績はコロナ影響補正後
		産業用その他	時系列相関 実数1次	閏補正後	2011 ~ 2023	0.618	-	$Y = 6.528X + 1065.124$	-	2020、2021年度実績はコロナ影響補正後

供給区域 沖縄

2024 年度

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	短期・長期と同様に日負荷率により算出	-	
	最大需要電力(送電端)冬季	-	-	
	負荷率	日負荷率を過去3年平均(推実含む)により算出	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	第3~9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	-
		家庭用その他(口数)	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	-	-
		家庭用その他(原単位)	-	-
業務用		第3~9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	-	
産業用その他	第3~9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	-		
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	各月の実績比率の過去3年平均により算出。	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	各月の実績比率の過去5年平均により算出。	-
		業務用	各月の実績比率の過去5年平均により算出。	コロナ影響を強く受けた2020年度は除外
		産業用その他	各月の実績比率の過去5年平均により算出。	-
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	各月の実績比率の過去3年平均により算出。	-	

全国及び供給区域ごとの需要想定 (2024 年度)

2024 年 1 月 24 日



電力広域的運営推進機関
Organization for Cross-regional Coordination of
Transmission Operators, JAPAN

- 目次 -

はじめに	1
1. 供給区域ごとの需要想定の確認について	2
(1) 送配電等業務指針及び需要想定要領への適合性	2
(2) 本機関が公表した経済見通しの使用状況	2
(3) 供給区域の個別事情や地域特性の反映状況	2
(4) 供給区域需要の想定の妥当性	3
2. 全国及び供給区域ごとの需要想定取りまとめ結果について	4
(1) 全国の需要想定	4
(2) 供給区域ごとの需要想定	7
3. まとめ（概要）	10
別添 1. 節電・省エネ影響について	11
別添 2. データセンター・半導体工場の新增設に伴う個別織り込みについて	14
別添 3. 需要想定フロー及び供給区域ごとの需要想定方法	16
別添 4. 全国及び供給区域ごとの需要想定（詳細表）	17
別添 5. 定義	20
別添 6. 需要想定要領の見直し経緯（概要）	21

はじめに

本機関は、業務規程第 23 条の規定に基づき、一般送配電事業者たる会員から提出された供給区域需要の想定について、その妥当性や送配電等業務指針及び需要想定要領等への適合性を確認するとともに、供給区域需要の想定合計からなる全国の需要想定を策定し、公表することとしている。

先般、一般送配電事業者たる会員から、2024 年度供給計画における供給区域需要の想定提出を受けたので、その内容の確認結果、及びその合計からなる全国の需要想定について報告する。

想定の対象は以下のとおりである。

- ・最大需要電力（送電端）
- ・需要電力量（送電端、需要端、使用端）

なお本想定は、需要想定要領に基づき、過去の電力需要実績と、それに影響を与えると考えられる要因（人口、経済指標などの指標）との回帰分析等により、将来の需要を想定するというものであり、その想定にあたっては過去のトレンドから蓋然性の高いと思われる指標を基礎としている。

一方で、2050 年カーボンニュートラル実現に向け電化の推進など電力需要の面でも政策的にも大きな転換を求められることも想定され、それらの情勢変化によっては、今回の想定と実際の需要との間で相当程度乖離する可能性もあることに留意が必要である。

【業務規程】

（全国の需要想定策定）

第 23 条 本機関は、送配電等業務指針に定めるところにより、一般送配電事業者たる会員から、当該会員の供給区域需要の想定提出を受ける。

2 本機関は、供給区域需要の想定提出を受けたときは、当該会員から必要に応じて、その根拠や考え方を聴取し、送配電等業務指針及び需要想定要領との適合性その他適切に需要想定を行うために必要な事項を確認するとともに、その妥当性を確認する。

3 本機関は、前項の確認の結果、供給区域需要の想定が妥当でないと認めるときは、当該供給区域の一般送配電事業者たる会員に対して、期限を示した上で、供給区域需要の想定の見直し及び見直後の需要想定提出を求める。本機関は、見直後の需要想定提出を受けた場合には、前項に準じて、その妥当性を確認する。

4 本機関は、毎年 1 月末日までに、第 2 項及び第 3 項において妥当性を確認した全ての供給区域需要の想定合計からなる全国の需要想定を策定する。

5 本機関は、全国の需要想定を策定したときは、全国及び供給区域ごとの需要想定を公表する。

1. 供給区域ごとの需要想定の確認について

業務規程第 23 条の規定に基づき、一般送配電事業者たる会員から 2024 年度の需要想定報告調書の提出を受けるとともに、当該会員へ需要想定根拠や考え方を聴取し、供給区域ごとの需要想定について以下の事項を確認した。

(1) 送配電等業務指針及び需要想定要領への適合性

① 確認事項

一般送配電事業者たる会員は、送配電等業務指針第 4 条の規定に基づき、本機関の公表する経済見通しその他の情報、直近の需要動向、過去の需要の実績、供給区域の個別事情等を考慮し、需要想定要領に基づき、自らの供給区域需要の想定を行い、毎年度 1 月 20 日までに本機関に提出する。

また、需要想定要領において、供給区域需要の想定は、原則として時系列又は経済見通しとの回帰式により行うこと等、想定的手法について定めている。

これらの規程等に照らして、一般送配電事業者たる会員の需要想定根拠の適合性を確認する。

② 確認結果

各会員の需要想定が、時系列又は経済見通しとの回帰式により行われていること、直近の需要動向、需要実績等を考慮していること等、送配電等業務指針及び需要想定要領に基づいて実施されていることを確認した。

(2) 本機関が公表した経済見通しの使用状況

① 確認事項

本機関は、2023 年 11 月 29 日、ウェブサイトにおいて、需要想定前提となる人口、国内総生産（GDP）、鉱工業生産指数（IIP）等の経済見通しを公表した¹。

一般送配電事業者たる会員が、経済見通しを想定に用いている場合には、本機関が公表した経済見通しを用いていることを確認する。

② 確認結果

各会員の需要想定で、経済見通しとの回帰式を用いている場合においては、本機関が公表した経済見通しを用いていることを確認した。

(3) 供給区域の個別事情や地域特性の反映状況

① 確認事項

需要想定要領において、一般送配電事業者たる会員は供給区域需要の想定の際に、必要に応じて地域の特性や個別需要家の動向等を考慮して想定することを定めており、こうした考慮が適切に行われていることを確認する。

¹ https://www.occto.or.jp/juyousoutei/2023/231129_juyousoutei_2024.html

② 確認結果

各会員の需要想定に供給区域の個別事情や地域特性を反映している場合においては、その根拠や考え方を聴取すること等により、適切に考慮されていることを確認した。

特に、節電・省エネ影響とデータセンター・半導体工場の新增設などの新たな大規模需要の織り込み方法についても各会員から聴取を行った。

その他、主な反映点等は以下のとおりである。

- ・ 住宅用太陽光発電の自家消費（全供給区域）
- ・ 節電・省エネ影響（全供給区域）
- ・ 大阪万博の開催（関西）
- ・ 個別需要家へのアンケート結果（生産動向や自家発動向等）（北陸、中国、沖縄）
- ・ データセンター・半導体工場の新增設（北海道、東京、関西、中国、九州）
- ・ 発電所の停止中所内電力（沖縄を除く供給区域）

（４）供給区域需要の想定の妥当性

① 確認事項

業務規程第 23 条の規定に基づき、全ての供給区域需要の想定妥当性を確認する。

② 確認結果

各会員の需要想定根拠や考え方他、昨年度想定水準との差異、実績と想定傾向変化を適切に分析していることについて重点的に確認し、全ての供給区域需要の想定妥当性を確認した。

特に、節電・省エネ影響と、データセンター・半導体工場の新增設などの新たな大規模需要の織り込みの考え方について各会員から聴取を行った。

2. 全国及び供給区域ごとの需要想定取りまとめ結果について

(1) 全国の需要想定

供給区域需要の想定合計からなる全国の需要想定は以下の結果となった。

① 最大需要電力

2033年度における全国の最大需要電力は161,634千kW(+0.3%：2023～33年度平均増減率²⁾)となり、2023年度供給計画最終年度(2032年度)断面で比較すると2,609千kW上回った。

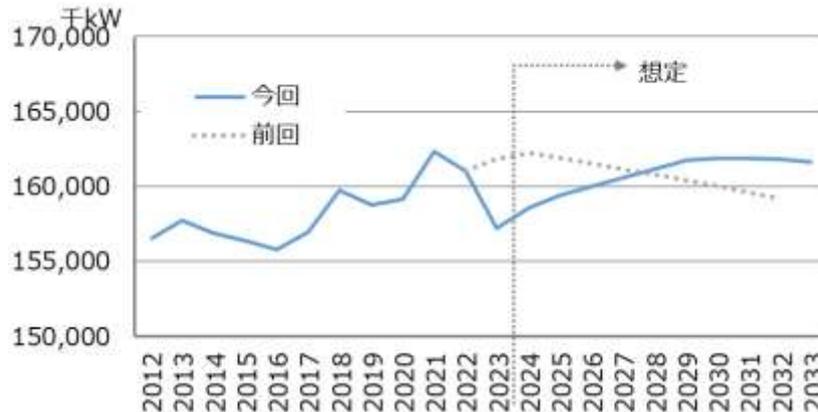


図1 最大需要電力全国合計 (8月：送電端) (単位：千kW)

2023年度の夏季については、テレワークの実施率低下等による在宅需要の減少や節電・省エネ影響などにより、前年度実績(2022年度)から3,805千kW減(▲2.4%)となった。

2024年度については、節電・省エネ影響は継続しつつも経済成長及びデータセンター・半導体工場の新增設に伴う需要増加により、2023年度実績に比べ1,336千kW増(+0.8%)となり、2025年度以降についても、人口減少や節電・省エネなどの減少影響よりも経済成長やデータセンター・半導体工場の新增設が続くため、2033年度にかけても増加するものと想定した。

② 需要電力量 (使用端)

2033年度における全国の需要電力量(使用端合計)は834,507百万kWh(+0.4%)となり、2023年度供給計画最終年度(2032年度)断面で比較すると19,437百万kWh上回った。

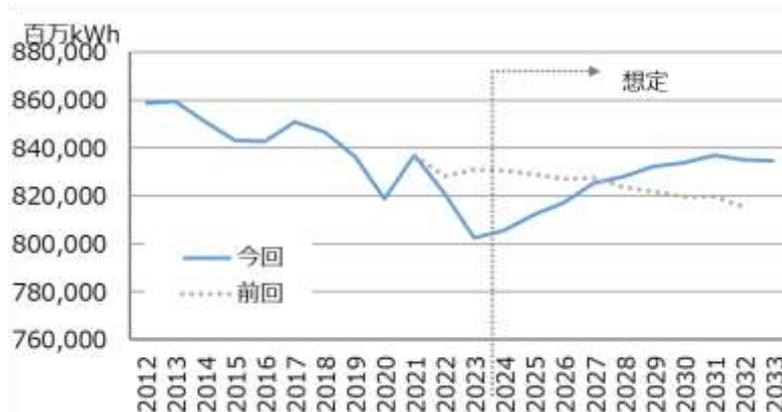


図2 需要電力量全国合計 (使用端) (百万kWh)

² 以降、断りの無い限り括弧内に記載の増減率は2023～33年度平均増減率を示す。

2023年度については、テレワークの実施率低下等による在宅需要の減少や節電・省エネ影響などにより、前年度実績（2022年度）から18,304百万kWh減（▲2.2%）となった。

2024年度については、節電・省エネ影響は継続しつつも経済成長及びデータセンター・半導体工場の新增設に伴う需要増加により、2023年度推定実績に比べ+2,931百万kWh増（+0.4%）となり、2025年度以降についても、人口減少や節電・省エネなどの減少影響よりも経済成長やデータセンター・半導体工場の新增設が続くため、2033年度にかけても増加するものと想定した。

③ 需要電力量（家庭用その他）

2033年度における全国の需要電力量（家庭用その他）は275,732百万kWh（▲0.5%）となり、2023年度供給計画最終年度（2032年度）断面で比較すると7,767百万kWh下回った。

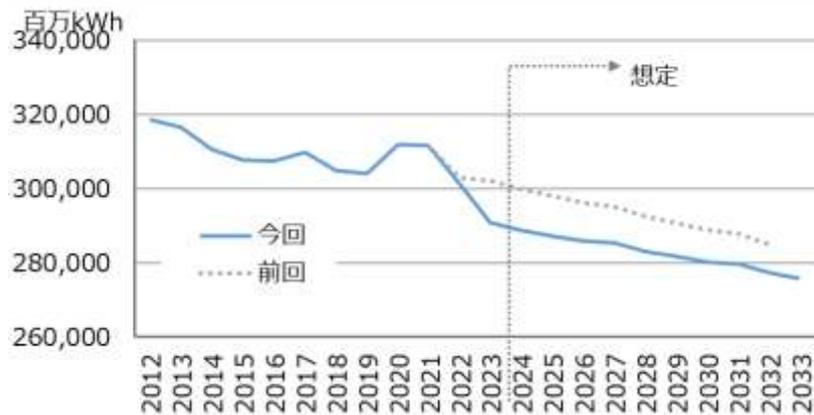


図3 需要電力量全国合計（家庭用その他）（百万 kWh）

2023年度については、テレワークの実施率低下等による在宅需要の減少や節電・省エネ影響などにより、前年度実績（2022年度）から10,651百万kWh減（▲3.5%）となった。

2024年度については、人口減少や節電・省エネ影響などにより、2023年度推定実績に比べ2,041百万kWh減（▲0.7%）となり、2025年度以降についても、人口減少や省エネ進展に加え足元の物価高騰に伴う節電の定着などにより、2033年度まで減少が続くものと想定した。

④ 需要電力量（業務用）

2033年度における全国の需要電力量（業務用）は193,602百万kWh（+0.0%）となり、2023年度供給計画最終年度（2032年度）断面で比較すると5,146百万kWh下回った。

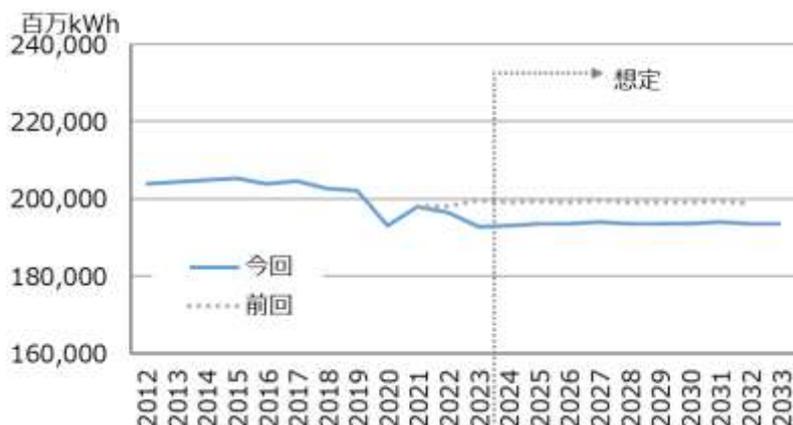


図4 需要電力量全国合計（業務用）（百万 kWh）

2023年度については、節電・省エネ影響により、前年度実績（2022年度）から3,706百万kWh減（▲1.9%）となった。

2024年度については、節電・省エネ影響は継続しつつも経済成長などから、2023年度推定実績に比べ+319百万kWh増（+0.2%）となり、2025年度以降は、経済成長などの増加影響と人口減少や節電の定着及び省エネ進展の影響等が拮抗し、2033年度までほぼ同水準で推移するものと想定した。

⑤ 需要電力量（産業用その他）

2023年度における全国の需要電力量（産業用その他）は365,173百万kWh（+1.4%）となり、2023年度供給計画最終年度（2032年度）断面で比較すると32,350百万kWh上回った。

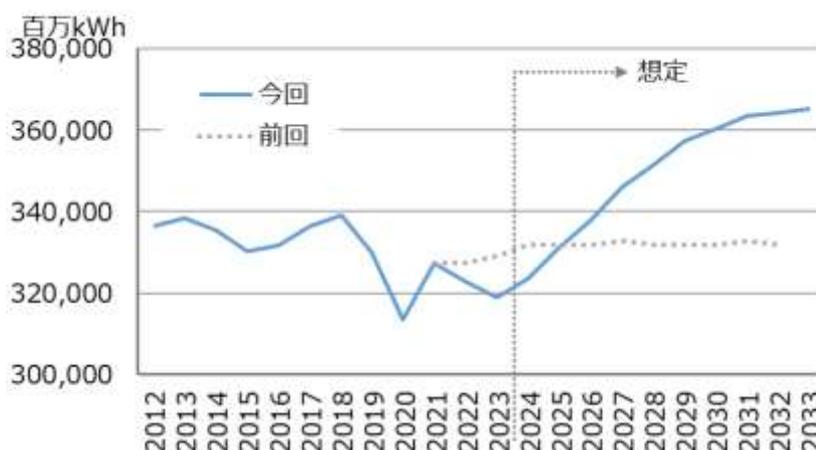


図5 需要電力量全国合計（産業用その他）（百万kWh）

2023年度については、生産水準の回復の遅れなどにより、前年度実績（2022年度）から3,948百万kWh減（▲1.2%）となった。

2024年度については、生産水準の回復に加えデータセンター・半導体工場の新增設に伴う需要増加などを見込んだ影響により、2023年度推定実績に比べ+4,653百万kWh増（+1.5%）となり、2025年度以降についても、データセンター・半導体工場の新增設が続くため、2033年度まで増加が続くものと想定した。

表1 全国の需要想定結果³

年度	想定										平均増減率 2023 ~2033
	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	
最大需要電力(送電端)	158,568	159,412	159,969	160,602	161,168	161,734	161,845	161,850	161,788	161,634	0.3
年負荷率	60.9	61.1	61.2	61.4	61.6	61.7	61.7	61.8	61.8	61.8	-
需要電力量合計(送電端)	846,128	852,747	857,995	866,293	869,058	873,520	875,050	878,142	875,918	875,385	0.4
需要電力量合計(需要端)	806,699	813,196	818,371	826,479	829,266	833,631	835,160	838,162	836,084	835,608	0.4
需要電力量合計(使用端)	805,602	812,097	817,272	825,377	828,167	832,531	834,060	837,059	834,984	834,507	0.4
家庭用その他	288,822	287,330	285,964	285,357	283,141	281,722	280,248	279,560	277,250	275,732	▲ 0.5
業務用	193,165	193,502	193,433	193,989	193,502	193,600	193,596	194,129	193,590	193,602	0.0
産業用その他	323,615	331,266	337,875	346,032	351,523	357,208	360,216	363,370	364,144	365,173	1.4

(注)表中の単位は、最大需要電力では千kW、需要電力量では百万kWh、年負荷率では%

³ 本文掲載以外の想定値については、巻末の別添4の各表を参照されたい。

(2) 供給区域ごとの需要想定

全国の需要想定の内訳となる供給区域ごとの需要想定について、対象項目別の想定結果を以下に示す。

① 最大需要電力

2023年度と2033年度の需要を比較した際の特徴としては、データセンター・半導体工場の新増設に伴う個別織り込みにより、北海道、東京、中国の需要が特に増加していることが挙げられる。

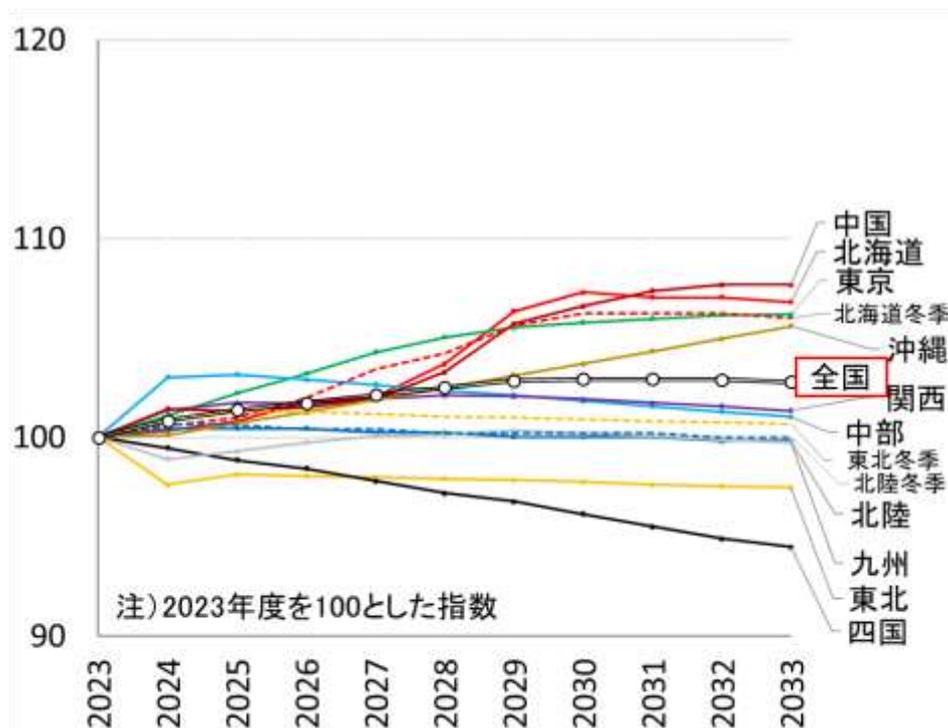


図6 供給区域ごとの最大需要電力の比較（送電端：2023年度を100とした指数）

表2 最大需要電力（送電端）（千kW）

年度		想定										平均 増減率 2023 ~2033
		2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	
夏季	北海道	4,180	4,200	4,240	4,250	4,320	4,430	4,470	4,460	4,460	4,450	0.7
	東北	13,010	13,080	13,070	13,060	13,050	13,040	13,030	13,010	13,000	12,990	▲ 0.3
	東京	53,950	54,550	55,070	55,640	56,040	56,310	56,450	56,550	56,640	56,660	0.6
	中部	24,090	24,120	24,060	24,000	23,930	23,880	23,810	23,750	23,680	23,620	0.1
	北陸	4,750	4,750	4,750	4,740	4,740	4,730	4,730	4,730	4,720	4,720	▲ 0.0
	関西	26,467	26,562	26,550	26,613	26,660	26,646	26,608	26,563	26,521	26,457	0.1
	中国	10,390	10,380	10,400	10,440	10,580	10,830	10,920	11,000	11,030	11,030	0.7
	四国	4,780	4,750	4,730	4,700	4,670	4,650	4,620	4,590	4,560	4,540	▲ 0.6
	九州	15,380	15,440	15,510	15,560	15,570	15,600	15,580	15,560	15,530	15,510	▲ 0.0
	沖縄	1,571	1,580	1,589	1,599	1,608	1,618	1,627	1,637	1,647	1,657	0.5
	全国	158,568	159,412	159,969	160,602	161,168	161,734	161,845	161,850	161,788	161,634	0.3
冬季	北海道	5,010	5,030	5,080	5,150	5,190	5,260	5,290	5,290	5,290	5,280	0.6
	東北	13,350	13,420	13,410	13,400	13,380	13,370	13,360	13,350	13,340	13,330	0.1
	北陸	4,870	4,870	4,860	4,860	4,850	4,850	4,850	4,850	4,840	4,840	0.0

② 需要電力量（使用端合計及び需要区分ごと）

2023年度と2033年度の需要を比較した際の特徴としては、用途ごとに以下が挙げられる。

(i) 家庭用その他

沖縄は主に人口増加の影響による需要増を織り込んでいる。

(ii) 業務用

北海道は札幌市街地再開発やリゾート開発等の需要増を見込んでいる。また、沖縄も人口や観光客数の増加を背景とした商業・宿泊施設の増加等による需要増を織り込んでいる。

(iii) 産業用その他

北海道、東京、関西、中国、九州はデータセンター・半導体工場の新增設に伴う需要増を個別加算分として織り込んでいる。

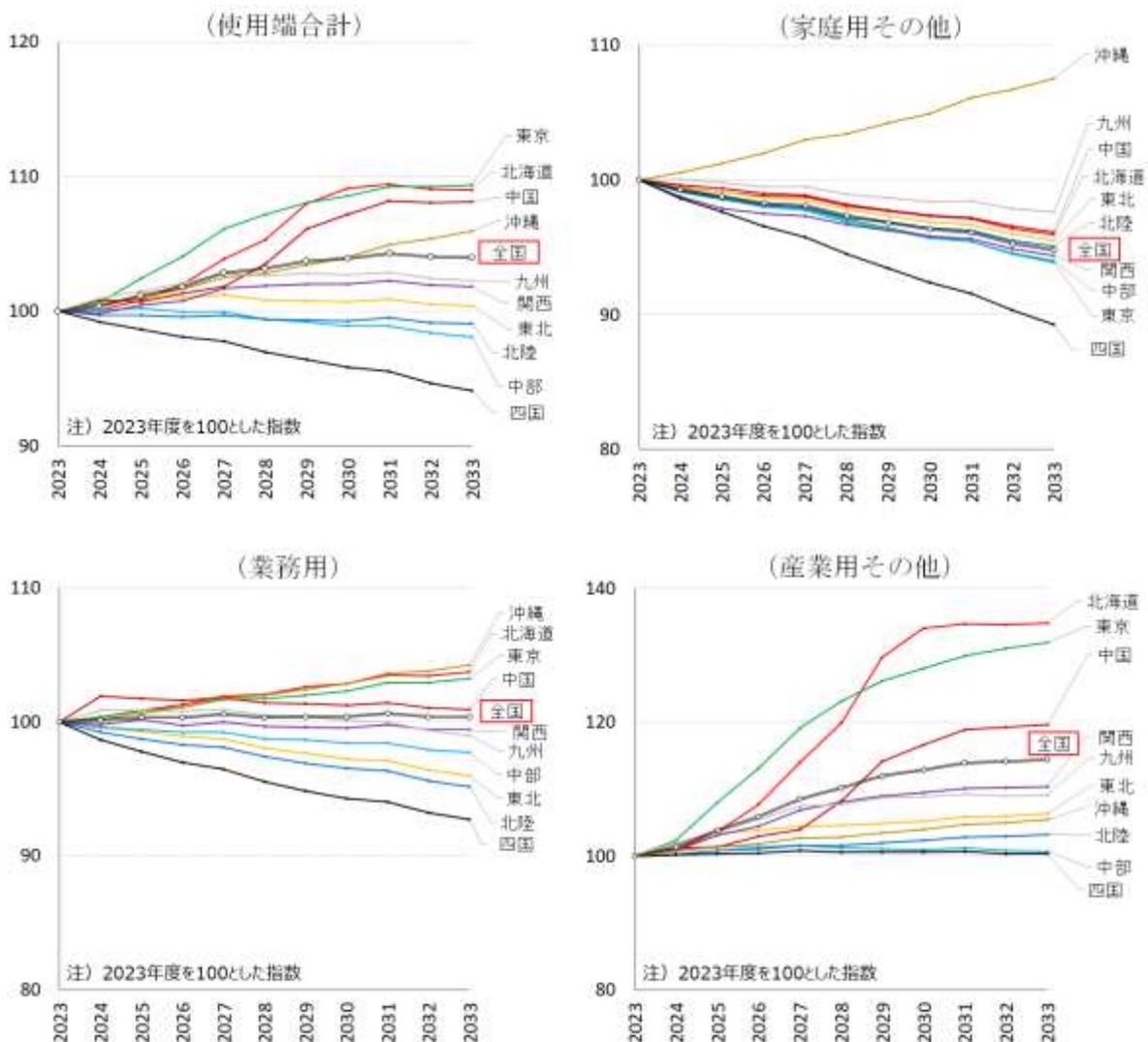


図7 供給区域ごとの需要電力量の比較
(使用端合計及び需要区分ごと：2023年度を100とした指数)

表3 需要電力量（使用端）（百万 kWh）

年度	想定										平均 増減率 2023 ~2033
	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	
北海道	27,741	27,946	28,265	28,792	29,183	29,925	30,246	30,320	30,218	30,206	0.9
東北	74,849	75,243	75,178	75,321	75,051	74,987	74,921	75,060	74,789	74,723	0.0
東京	259,247	263,906	268,069	273,430	276,069	278,352	279,639	281,345	281,413	281,741	0.9
中部	124,068	124,235	123,906	123,931	123,250	122,957	122,610	122,640	121,954	121,634	▲ 0.2
北陸	26,012	26,012	25,984	26,019	25,928	25,920	25,904	25,962	25,869	25,851	▲ 0.1
関西	127,684	128,480	128,894	130,072	130,296	130,496	130,504	130,827	130,428	130,245	0.2
中国	53,798	53,738	54,071	54,321	55,218	56,630	57,174	57,727	57,664	57,668	0.8
四国	23,996	23,862	23,726	23,654	23,455	23,321	23,179	23,104	22,901	22,766	▲ 0.6
九州	80,520	80,945	81,402	81,994	81,850	82,028	81,924	82,043	81,687	81,565	0.2
沖縄	7,687	7,730	7,777	7,843	7,867	7,915	7,959	8,031	8,061	8,108	0.6
全国	805,602	812,097	817,272	825,377	828,167	832,531	834,060	837,059	834,984	834,507	0.4

表4 家庭用その他

年度	想定		
	2024	2025	2033
北海道	12,187	12,150	11,760
東北	25,594	25,524	24,596
東京	96,560	96,073	91,325
中部	38,222	38,004	36,226
北陸	8,496	8,450	8,152
関西	44,913	44,494	42,916
中国	18,103	18,057	17,467
四国	9,807	9,707	8,879
九州	31,400	31,307	30,625
沖縄	3,540	3,564	3,786
全国	288,822	287,330	275,732

表5 業務用

年度	想定		
	2024	2025	2033
北海道	7,731	7,770	7,994
東北	15,611	15,571	15,047
東京	73,777	74,110	75,891
中部	21,129	21,088	20,723
北陸	4,805	4,782	4,609
関西	33,218	33,334	33,084
中国	10,235	10,218	10,137
四国	5,300	5,251	4,981
九州	18,508	18,514	18,169
沖縄	2,851	2,864	2,967
全国	193,165	193,502	193,602

表6 産業用その他

年度	想定		
	2024	2025	2033
北海道	7,823	8,026	10,452
東北	33,644	34,148	35,080
東京	88,910	93,723	114,525
中部	64,717	65,143	64,685
北陸	12,711	12,780	13,090
関西	49,553	50,652	54,245
中国	25,460	25,463	30,064
四国	8,889	8,904	8,906
九州	30,612	31,124	32,771
沖縄	1,296	1,303	1,355
全国	323,615	331,266	365,173

3. まとめ（概要）

全国の 2033 年度における最大需要電力は 161,634 千 kW (+0.3% : 2023~33 年度平均増減率)、需要電力量（使用端）は 834,507 百万 kWh (+0.4%) となり、一般送配電事業者たる会員が昨年に届け出た 2023 年度供給計画の最終年度（2032 年度）断面で比較すると、最大需要電力は 2,609 千 kW の上方修正、需要電力量（使用端）は 19,437 百万 kWh の上方修正となった。

また、家庭用その他・業務用については、節電・省エネ影響が大きく、節電は定着し省エネは引き続き進展する見込みであることから減少傾向が継続する見通しとした。一方、産業用その他については、データセンター・半導体工場の新增設などといった大規模な需要の個別織り込みがあるため増加傾向となる見通しとなった。そのため、2027 年度までは家庭用その他・業務用において節電・省エネ影響による減少が反映されるため前回想定を下回るが、2028 年度以降は産業用その他の増加に伴い前回想定を上回る結果となった。

データセンター・半導体工場の新增設においては、前回の需要想定以降に具体化されたため、各社への申込状況等を踏まえ、各エリアで個別織り込みすることになったが、その影響は大きいことから今後の動向を注目していきたい。また、その他の影響要素として、EV・蓄電池、水素製造などの産業構造の変化にも注視しつつ、需要想定への反映について引き続き検討が必要であると認識している。

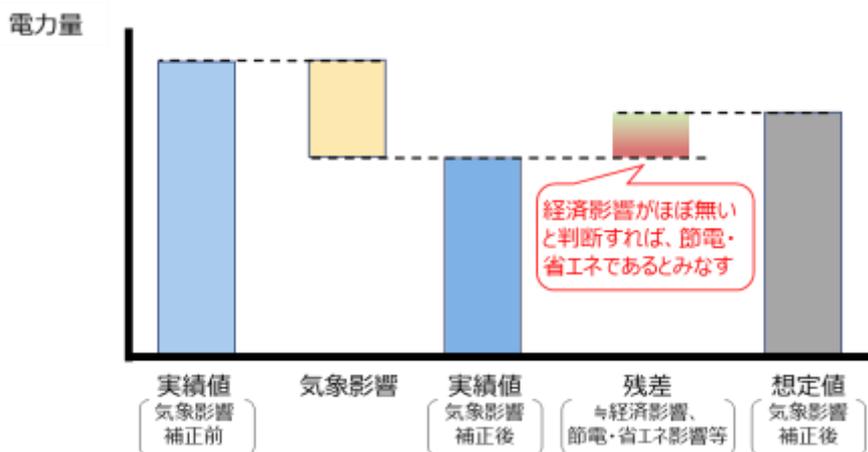
別添 1. 節電・省エネ影響について

(1) 実績における節電・省エネ影響量の考え方

想定と実績の差は、主に気象影響、経済影響などから生じるが、それらを控除してもなお残る差分の中に節電・省エネ影響量が含まれていると考えられる。

気象影響については平年差などを基に気象補正を行うことで影響量が算定可能であるが、残差の仕分けは困難であるため、一定の仮定^{*}を置いた上で節電・省エネ影響と考えられる量を推計している。

^{*}例えば、経済影響がほぼ無いと判断すれば、残差を節電・省エネ影響量とみなす



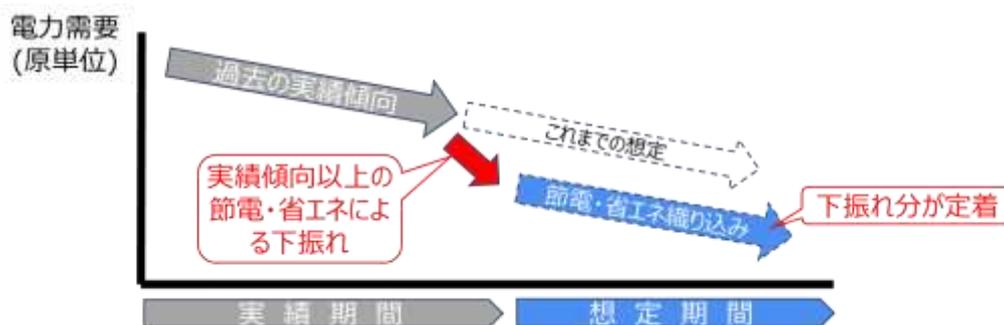
別添図 1 - 1 実績における節電・省エネ影響量のイメージ

(2) 節電・省エネの需要想定への織り込み

需要想定要領では、原則として実績期間における時系列傾向や経済指標との相関式に基づくことと定めている。省エネ機器への置き換えなど経年的な電力量減少要因は実績傾向に織り込まれ、需要想定に反映される。

一方で、物価高騰に伴う家庭や企業における節電・省エネなどにより、今までの傾向以上の節電・省エネが行われた場合、実績傾向から下振れする場合もある。

このうち、冷暖房機器の設定温度変更や照明のこまめなスイッチ入切などの節電行動や省エネ機器への置き換え等については、中長期にも効果が継続することから、これまでのトレンドから下方シフトすることが見込まれる。



別添図 1 - 2 節電・省エネ織り込みのイメージ

(3) 計画差における節電・省エネ影響の推計結果(全国合計)

① 家庭用その他

物価高騰に伴う生活防衛のための節電・省エネや在宅需要の減少などの要因により、計画差を踏まえ算定した節電・省エネ影響率は全国合計で3~4%程度と推計する。資源価格の高止まりなどにより今後の見通しが不透明であることから、殆どのエリアにおいて推定実績の節電・省エネ影響率が2033年度まで継続すると見込んでいる。

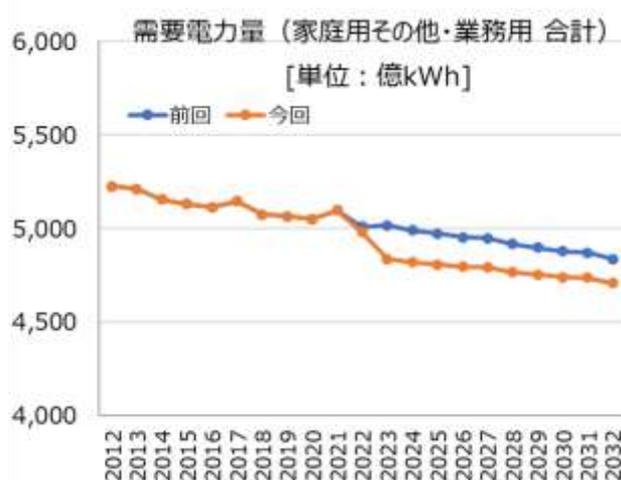
② 業務用

主に物価高騰に伴う企業の経費削減のための節電・省エネや機器更新による省エネなどの要因により、計画差を踏まえ算定した節電・省エネ影響率は全国合計で3%程度と推計する。企業における経費削減や環境意識の高まりなどにより、殆どのエリアにおいて推定実績の節電・省エネ影響率が2033年度まで継続すると見込んでいる。

別添表1-1 需要電力量(家庭用その他・業務用 全国合計)の前回計画差(億kWh)

		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度
前回計画	家庭用その他	3,022	2,998	2,980	2,962	2,952	2,926	2,907	2,888	2,877	2,850
	業務用	1,995	1,992	1,993	1,992	1,997	1,991	1,991	1,990	1,994	1,987
	合計	5,017	4,990	4,974	4,954	4,949	4,917	4,898	4,878	4,871	4,838
今回計画	家庭用その他	2,909	2,888	2,873	2,860	2,854	2,831	2,817	2,802	2,796	2,773
	業務用	1,928	1,932	1,935	1,934	1,940	1,935	1,936	1,936	1,941	1,936
	合計	4,837	4,820	4,808	4,794	4,793	4,766	4,753	4,738	4,737	4,708
(影響量) 計画差	家庭用その他	▲114	▲110	▲107	▲103	▲99	▲95	▲90	▲86	▲82	▲78
	業務用	▲66	▲60	▲58	▲58	▲57	▲56	▲55	▲54	▲53	▲51
	合計	▲180	▲170	▲165	▲160	▲156	▲151	▲145	▲140	▲134	▲129
影響率※	家庭用その他	4%	4%	4%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%
	業務用	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%
	合計	4%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%

※ 影響率 = (今回計画-前回計画) / 今回計画



別添図1-3 需要電力量(家庭用その他・業務用 全国合計)

(4) 節電・省エネ影響率が 2033 年度まで継続すると想定する要因

2023 年度推定実績における節電・省エネ影響率は、「省エネ・節電メニュー・リーフレット」に示されているような行動の組み合わせで達成可能な水準であり、継続する可能性が高いと想定した。

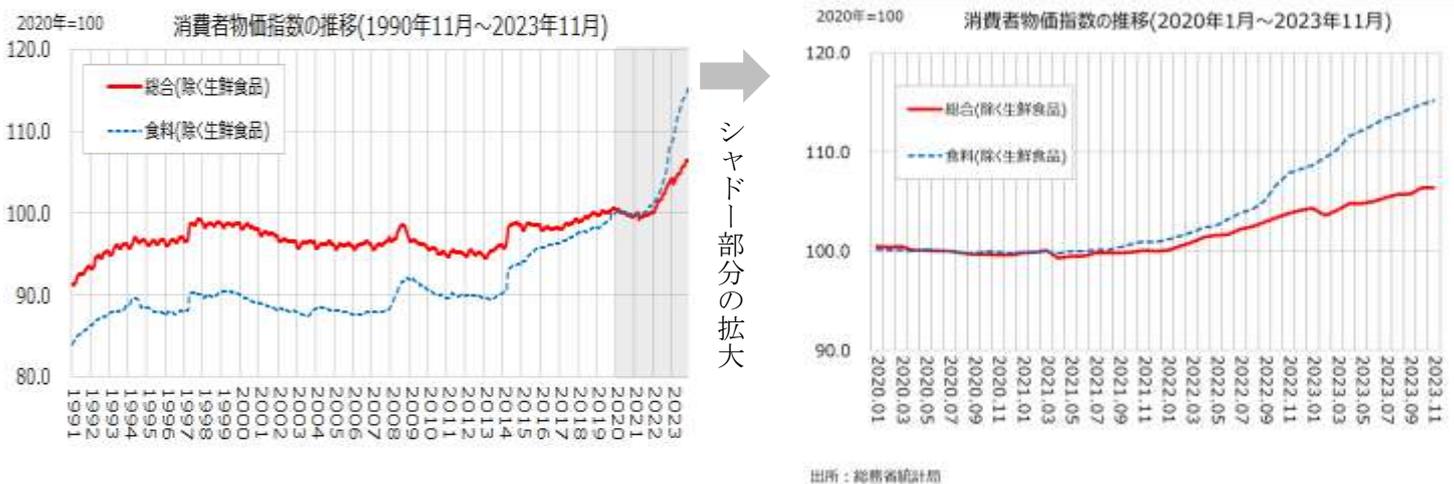


別添図 1-4 省エネポータルサイト⁴「夏季の省エネ・節電メニュー・リーフレット」における節電効果の例

(参考) 最近の物価高騰の特徴点について

これまで消費税率改定時以外はほぼ変化がなかった食料品の価格が、原材料費高騰などの影響で上昇し始め、現在もその傾向が継続している。

食料関連は、総務省の家計調査においても消費支出の 3 割程度を占めており、物価高騰が与える影響は大きく、これに伴う生活防衛意識の高まりが、食料関連以外の消費支出の抑制ひいては節電・省エネ行動を誘発したと推測する。



別添図 1-5 消費者物価指数の推移

⁴ https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/

別添2. データセンター・半導体工場の新増設に伴う個別織り込みについて

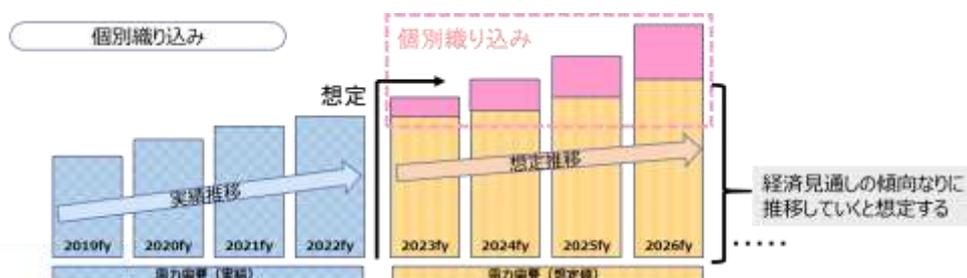
(1) 背景

2023年6月、経済産業省は日本の半導体、情報処理基盤、高度情報通信インフラ、蓄電池等の産業に関して、今後の政策の方向性を定めた「半導体・デジタル産業戦略」⁵の改定を取りまとめ、公表した。「半導体・デジタル産業戦略」をもって、日本の半導体産業再興への足掛かりとして、半導体メーカーの工場を誘致するなど政策支援を厚くしている。そのため、日本において、半導体工場の新増設の動きが活発になっている。

また、現在、日本におけるデータセンターは大都市部に集中しており、今後も大規模なデータセンターが整備される動きがあるが、その大半は東京・大阪エリアが占める見込みである。一方、データセンターのレジリエンス強化や電力負荷の偏在といった課題があり、東京・大阪を補完・代替するデータセンターの新規拠点を整備する補助金⁶もでている。

(2) 個別織り込みの想定方法

今回、個別織り込みする基準としては、「過去の実績傾向及び経済指標との相関に含まれない」と各エリアにて判断した場合とした。



別添図2-1 個別織り込みのイメージ

データセンターの場合、大都市部では申込契約容量のうち、引き込み位置などの詳細検討や工事費負担金入金済等、既に建設等が進んでいる案件を蓋然性が高いと判断し、需要想定への個別反映対象としている。一方、大都市部以外では、補助金の公表情報や報道、事業者ヒアリング等により申込契約容量との整合性をとり、蓋然性が高いと判断したものを需要想定への個別反映対象としている。また、既設のデータセンターや半導体工場の実績動向に合わせて稼働率などを乗算し、最大需要電力及び年間電力量の個別織り込み量を算出した。

⁵ https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/joho/conference/semicon_digital.html

⁶ <https://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobo/2023/k230922001.html>

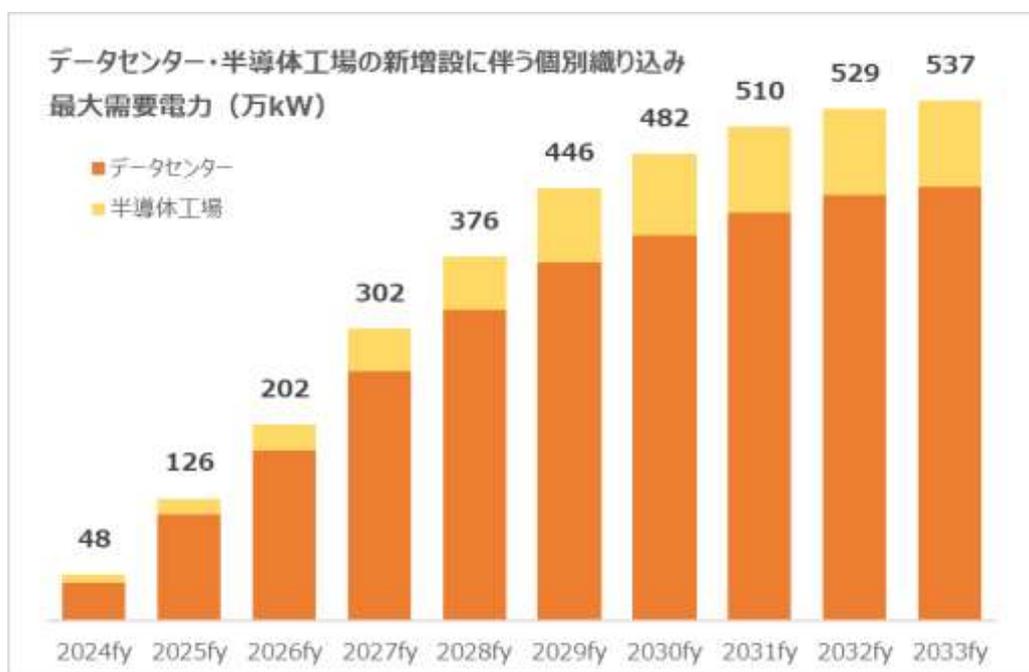
(3) 個別織り込みの想定結果

最大需要電力は、2024年度では+48万kW、2028年度では+376万kW、2033年度では+537万kWが個別加算される結果となった。

また、需要電力量としては、産業用その他に2024年度では+37億kWh、2033年度で+407億kWhが加算される結果となった。

別添表2-1 データセンター・半導体工場の新增設に伴う個別織り込み

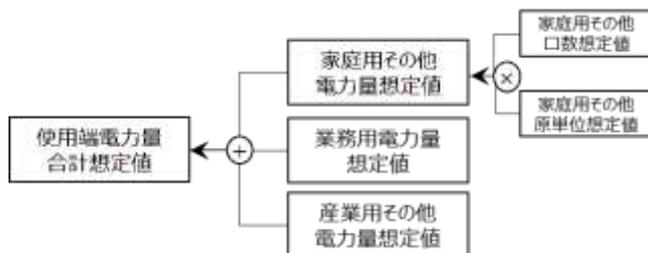
	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度
最大需要電力 [万kW]	48	126	202	302	376	446	482	510	529	537
需要電力量 [億kWh]	37	97	159	229	289	342	369	387	401	407



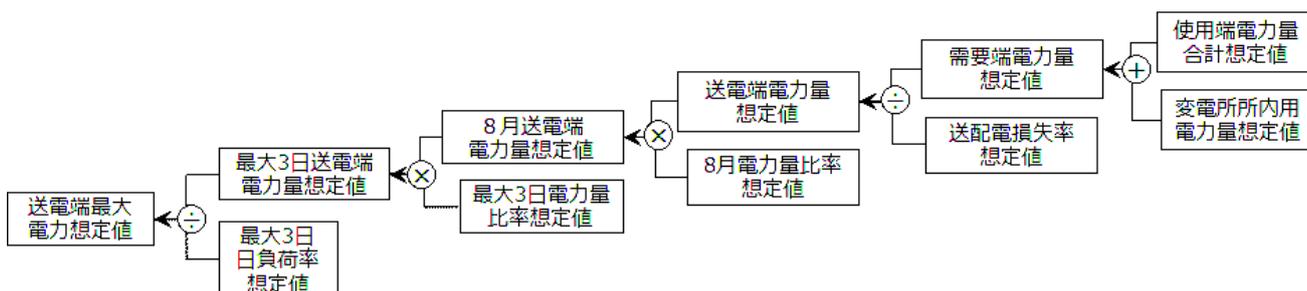
別添図2-2 データセンター・半導体工場の新增設に伴う個別織り込み (最大需要電力)

別添3. 需要想定フロー及び供給区域ごとの需要想定方法

需要想定フロー及び供給区域ごとの需要想定方法は以下のとおりである。



別添図3-1 需要電力量（使用端）の想定フロー



別添図3-2 最大需要電力（送電端）の主な想定フロー（日負荷率による想定の場合）

別添表3-1 供給区域ごとの需要想定方法

	2024年度及び2025年度（短期）					2023年度（長期）								
	需要電力量（使用端）			最大需要電力		需要電力量（使用端）			最大需要電力					
	家庭用その他		業務用	産業用その他	8月	1月	家庭用その他		業務用	産業用その他	8月	1月		
	口数	原単位					口数	原単位						
北海道	人口/一人当たり人口	時系列	GDP原単位	IIP	日負荷率	日負荷率	人口/一人当たり人口	時系列	GDP原単位	IIP	日負荷率	日負荷率		
東北			GDP人口						IIP原単位			GDP人口	IIP時系列	日負荷率
東京			GDP時系列						IIP時系列			GDP時系列	IIP時系列	—
中部			GDP時系列						IIP			GDP時系列	IIP	—
北陸			時系列						個社動向・直近実績等			時系列	IIP	日負荷率
関西			GDP時系列						IIP時系列			GDP時系列	IIP時系列	—
中国			時系列						IIP			時系列	IIP	
四国			GDP時系列						IIP時系列			GDP時系列	IIP時系列	
九州			GDP原単位						IIP			GDP原単位	IIP	
沖縄			時系列						時系列			時系列	時系列	8月比率

(注) 1. 経済指標（GDP等）と時系列の両方の記載がある箇所は、重回帰による想定
 2. 下線箇所は、経済指標や時系列の回帰式以外に個社動向を織り込み想定

別添表 4 - 2 需要電力量（使用端）用途別

（百万kWh）

		年度	想定		
			2024	2025	2033
需要電力量（使用端）	家庭用その他	北海道	12,187	12,150	11,760
		東北	25,594	25,524	24,596
		東京	96,560	96,073	91,325
		中部	38,222	38,004	36,226
		北陸	8,496	8,450	8,152
		関西	44,913	44,494	42,916
		中国	18,103	18,057	17,467
		四国	9,807	9,707	8,879
		九州	31,400	31,307	30,625
		沖縄	3,540	3,564	3,786
		全国	288,822	287,330	275,732
		業務用	北海道	7,731	7,770
	東北		15,611	15,571	15,047
	東京		73,777	74,110	75,891
	中部		21,129	21,088	20,723
	北陸		4,805	4,782	4,609
	関西		33,218	33,334	33,084
	中国		10,235	10,218	10,137
	四国		5,300	5,251	4,981
	九州		18,508	18,514	18,169
	沖縄		2,851	2,864	2,967
	全国		193,165	193,502	193,602
	産業用その他		北海道	7,823	8,026
		東北	33,644	34,148	35,080
		東京	88,910	93,723	114,525
		中部	64,717	65,143	64,685
		北陸	12,711	12,780	13,090
		関西	49,553	50,652	54,245
		中国	25,460	25,463	30,064
		四国	8,889	8,904	8,906
		九州	30,612	31,124	32,771
		沖縄	1,296	1,303	1,355
		全国	323,615	331,266	365,173

注) 1. 本資料は需要想定調査提出データを集約したもの。 2. 端数処理の関係で合計と一致しない場合がある。

別添表4-3 供給区域需要想定（第1年度、第2年度 月別詳細）

①供給区域需要想定（第1年度 月別詳細）

（百万kWh、千kW）

		2024年度(想定第1年度)											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
最大需要電力（送電端）	北海道	3,950	3,530	3,590	4,080	4,180	3,870	3,870	4,440	4,810	5,010	4,990	4,530
	東北	10,530	9,780	10,680	12,770	13,010	11,510	10,220	11,490	12,860	13,350	13,300	12,250
	東京	37,130	35,930	41,860	53,950	53,950	45,490	38,270	39,450	43,580	47,520	47,520	41,740
	中部	17,740	17,780	20,020	24,090	24,090	21,620	18,550	18,480	21,370	23,140	23,140	20,130
	北陸	3,650	3,360	3,905	4,750	4,750	4,200	3,470	3,755	4,485	4,870	4,870	4,165
	関西	17,089	17,661	20,451	26,467	26,467	22,093	18,297	18,073	22,421	24,105	24,105	20,043
	中国	7,100	7,160	8,280	10,390	10,390	9,080	7,560	7,950	9,780	9,950	9,950	8,450
	四国	3,220	3,300	3,840	4,780	4,780	4,230	3,580	3,400	4,590	4,590	4,590	3,790
	九州	9,760	10,760	12,130	15,380	15,380	13,420	11,230	11,510	13,820	14,480	14,480	11,970
	沖縄	1,024	1,290	1,488	1,571	1,571	1,524	1,340	1,119	960	1,043	958	938
全国	111,193	110,551	126,244	158,228	158,568	137,037	116,387	119,667	138,676	148,058	147,903	128,006	
需要（送電端）	北海道	2,312	2,147	2,026	2,214	2,293	2,084	2,242	2,479	3,000	3,098	2,792	2,776
	東北	6,170	5,578	5,986	6,555	6,534	6,010	5,879	6,444	7,892	7,920	7,505	6,858
	東京	20,076	19,835	20,840	24,101	24,961	21,691	20,673	21,038	24,636	26,085	23,496	23,202
	中部	9,717	9,339	10,073	11,741	11,774	10,710	10,066	10,157	11,647	12,227	11,305	11,262
	北陸	2,093	1,897	2,050	2,263	2,357	2,108	1,989	2,153	2,642	2,722	2,490	2,387
	関西	9,862	9,836	10,456	12,374	13,117	10,927	10,194	10,250	11,950	13,001	11,548	11,199
	中国	4,255	4,088	4,379	4,878	5,315	4,483	4,025	4,512	5,275	5,272	5,080	5,120
	四国	1,887	1,850	1,957	2,296	2,354	2,032	1,923	1,947	2,298	2,442	2,192	2,143
	九州	6,195	6,078	6,581	7,896	7,968	6,874	6,433	6,443	7,831	8,224	7,260	6,986
	沖縄	552	637	764	896	868	784	691	583	590	594	520	566
全国	63,119	61,285	65,112	75,214	77,541	67,703	64,115	66,006	77,761	81,585	74,188	72,499	
合計	北海道	2,327	2,172	1,863	2,059	2,166	1,976	2,035	2,268	2,532	3,058	2,679	2,606
	東北	6,160	5,573	5,524	5,823	6,248	5,873	5,570	5,881	6,533	7,661	7,195	6,808
	東京	20,707	18,912	19,930	21,676	23,795	22,526	19,849	19,760	21,515	24,139	24,246	22,192
	中部	10,053	9,049	9,618	10,461	11,246	11,050	9,755	9,498	10,100	11,118	11,394	10,726
	北陸	2,078	1,908	1,960	2,094	2,249	2,095	1,896	2,016	2,309	2,585	2,455	2,367
	関西	10,071	9,595	9,589	10,573	12,314	11,359	9,848	9,708	10,033	12,184	11,515	10,895
	中国	4,253	4,021	4,038	4,373	4,856	4,550	4,116	4,150	4,526	5,174	5,004	4,737
	四国	1,838	1,801	1,807	2,019	2,243	1,977	1,827	1,817	1,968	2,442	2,132	2,125
	九州	6,355	5,780	6,070	6,792	7,581	7,257	6,364	6,098	6,500	7,472	7,495	6,756
	沖縄	546	562	654	754	853	812	711	618	554	596	522	502
全国	64,388	59,373	61,053	66,624	73,551	69,475	61,971	61,814	66,570	76,429	74,637	69,714	
家庭用その他	北海道	1,113	993	700	775	859	768	785	978	1,074	1,587	1,324	1,231
	東北	2,296	1,834	1,558	1,601	1,912	1,721	1,699	1,923	2,228	3,250	2,896	2,676
	東京	7,892	6,420	6,348	6,959	8,552	8,012	6,512	6,969	8,306	10,725	10,851	9,014
	中部	3,249	2,477	2,415	2,679	3,467	3,292	2,538	2,636	3,230	4,173	4,405	3,661
	北陸	766	609	524	526	657	597	510	618	791	1,064	980	854
	関西	3,473	3,213	2,784	3,079	4,465	3,837	2,888	3,254	3,489	5,442	4,782	4,207
	中国	1,475	1,281	1,160	1,181	1,580	1,430	1,156	1,290	1,560	2,162	2,051	1,777
	四国	752	712	600	686	935	778	663	703	785	1,232	1,010	951
	九州	2,505	2,062	2,086	2,364	2,929	2,750	2,126	2,169	2,628	3,419	3,544	2,818
	沖縄	244	249	297	355	414	393	325	263	242	295	235	228
全国	23,765	19,850	18,472	20,205	25,770	23,578	19,202	20,803	24,333	33,349	32,078	27,417	
業務用	北海道	605	569	558	612	644	563	587	641	755	780	703	714
	東北	1,230	1,095	1,145	1,287	1,411	1,249	1,091	1,190	1,439	1,570	1,543	1,361
	東京	5,672	5,464	5,942	6,615	7,293	6,755	5,858	5,571	5,949	6,368	6,369	5,921
	中部	1,632	1,527	1,633	1,854	2,121	2,011	1,709	1,568	1,653	1,841	1,865	1,715
	北陸	337	340	365	444	482	393	356	359	439	461	424	405
	関西	2,560	2,381	2,593	2,973	3,393	3,220	2,724	2,460	2,553	2,833	2,858	2,670
	中国	771	725	775	912	1,035	934	797	751	833	938	923	841
	四国	363	381	430	528	545	446	398	384	462	492	442	429
	九州	1,394	1,272	1,372	1,636	1,906	1,842	1,574	1,383	1,387	1,619	1,634	1,489
	沖縄	200	208	244	282	318	301	275	246	208	198	189	179
全国	14,764	13,962	15,057	17,143	19,148	17,714	15,369	14,553	15,678	17,100	16,950	15,724	
産業用その他	北海道	609	610	605	672	663	645	663	649	703	691	652	661
	東北	2,634	2,644	2,821	2,935	2,925	2,903	2,780	2,768	2,866	2,841	2,756	2,771
	東京	7,143	7,028	7,640	8,102	7,950	7,759	7,479	7,220	7,260	7,046	7,026	7,257
	中部	5,172	5,045	5,570	5,928	5,658	5,747	5,508	5,294	5,217	5,104	5,124	5,350
	北陸	975	959	1,071	1,124	1,110	1,105	1,030	1,039	1,079	1,060	1,051	1,108
	関西	4,038	4,001	4,212	4,521	4,456	4,302	4,236	3,994	3,991	3,909	3,875	4,018
	中国	2,007	2,015	2,103	2,280	2,241	2,186	2,163	2,109	2,133	2,074	2,030	2,119
	四国	723	708	777	805	763	753	766	730	721	718	680	745
	九州	2,456	2,446	2,612	2,792	2,746	2,665	2,664	2,546	2,485	2,434	2,317	2,449
	沖縄	102	105	113	117	121	118	111	109	104	103	98	95
全国	25,859	25,561	27,524	29,276	28,633	28,183	27,400	26,458	26,559	25,980	25,609	26,573	

②供給区域需要想定（第2年度 月別詳細）

（千kW）

		2025年度(想定第2年度)											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
最大需要電力（送電端）	北海道	3,970	3,550	3,610	4,110	4,200	3,900	3,900	4,470	4,830	5,030	5,010	4,550
	東北	10,590	9,830	10,730	12,840	13,080	11,580	10,270	11,550	12,930	13,420	13,360	12,320
	東京	37,730	36,520	42,450	54,550	54,550	46,090	38,860	40,040	44,160	48,100	48,100	42,330
	中部	17,760	17,800	20,050	24,120	24,120	21,650	18,580	18,500	21,400	23,180	23,180	20,160
	北陸	3,650	3,360	3,905	4,750	4,750	4,200	3,470	3,755	4,485	4,870	4,870	4,165
	関西	17,189	17,775	20,575	26,562	26,562	22,227	18,396	18,153	22,493	24,170	24,170	20,119
	中国	7,100	7,150	8,270	10,380	10,380	9,070	7,560	7,940	9,770	9,940	9,940	8,440
	四国	3,210	3,280	3,820	4,750	4,750	4,210	3,560	3,380	4,570	4,570	4,570	3,770
	九州	9,800	10,800	12,170	15,440	15,440	13,470	11,280	11,590	13,910	14,580	14,580	12,050
	沖縄	1,030	1,297	1,496	1,580	1,580	1,533	1,348	1,125	965	1,049	964	943
全国	112,029	111,362	127,076	159,082	159,412	137,930	117,224	120,503	139,513	148,909	148,744	128,847	

注1. 本資料は需要想定調査提出データを集約したもの。2. 最大需要電力は千kW、需要電力量は百万kWhの単位。3. 端数処理の関係で合計と一致しない場合がある。

別添5. 定義

本報告書で使用している用語の定義は以下のとおりである。

① 使用端電力量

一般の需要に応じて一般送配電事業者の流通設備を通じて供給される電力量。

② 需要端電力量

使用端電力量に一般送配電事業者の変電所所内用電力量を加えたもの。

③ 送電端電力量

需要端電力量又は使用端電力量に送配電損失量※を加えたもの。もしくは、発電端電力量から発電所所内用電力量を差し引いたもの。

※需要端電力量に加える送配電損失量は、一般送配電事業者の変電所所内用電力量を含まない。

④ 発電端電力量

発電所の発生電力端の電力量。

⑤ 最大需要電力

ある月について1時間の最大需要電力を上位から3日採り、それを平均したものの内、年間で最大となるもの。なお、夏季（8月）の想定を基本としているが、冬季に最大需要電力が発生するものと想定する地域においては、夏季に加え冬季の最大需要電力も想定している。

⑥ 負荷率

一定期間中の最大需要電力に対する平均電力（一定期間の電力量をその期間の総時間で除したもの。期間の採り方により日・月・年平均電力等がある）の比率で、負荷の特性を表すもの。

⑦ 供給区域需要

一般送配電事業者の各供給区域において、小売電気事業者、一般送配電事業者及び登録特定送配電事業者が一般送配電事業者の流通設備に接続する一般の需要に応じて供給する電気の量。

なお、電気事業法の一部を改正する法律（平成26年6月11日成立、以下「改正電気事業法」という）第二条第一項第五号ロに掲げる接続供給により供給されるものがある場合、当該電気の量は各供給地点が属する供給区域需要に区分する。

⑧ 平均増減率

計算期間における年間の平均増減率を表す。（複利計算の利率と同様。）

⑨ 需要区分

使用端電力量を用途に応じて区分に分けたもの。

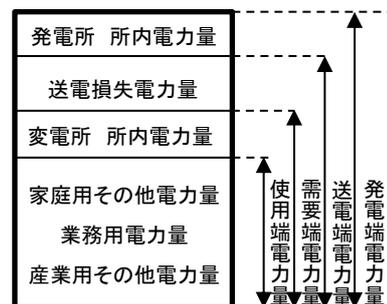
⑩ 家庭用その他

低圧により受電する需要とする。

⑪ 業務用、産業用その他

特別高圧・高圧により受電する需要とし、業務用と産業用その他に区分する。

（注）改正電気事業法第二条第一項第五号ロに掲げる接続供給により供給されるものがある場合、当該分は家庭用その他、業務用又は産業用その他いずれかの需要区分に含む。



別添6. 需要想定要領の見直し経緯（概要）

本機関は、電力システム改革の進展に合わせて適時、需要想定要領の見直しを行っており、2019年以降において見直しを行った内容について、その概要を以下に記す。

- ・ 2019年7月1日変更

適切な供給力の確保に向けて、2024年度実需給向けに開設される容量市場の初回オークションが2020年度に実施されたことから、その基礎となる需要想定についても、説明性の向上等の観点から供給区域間で不整合とならないよう想定方法の考え方を改めて整理し、基本的な想定方法を定めるとともに手法等を具体的に記載した。

- ・ 2020年7月9日変更

2024年度に容量市場が開設されるまでの間、小売電気事業者が確保する供給力が不足した場合、一般送配電事業者が代わりに供給力を調達することが出来るようにするため、供給力が不足する時期・量をきめ細かく算定すべく、対象となる供給計画第2年度について、最大需要電力（送電端）の想定を月別に実施することを定めた。

- ・ 2022年4月1日変更

配電事業ライセンス創設に伴い、配電事業者が事業エリアの需要想定を行う必要が生じたことから、需要想定の実施主体に配電事業者を追加した。